

静岡県公報 平成30年11月30日 号外 別冊
平成30年11月 公表

第 142 号

県財政のあらまし

平成29年度 決算

平成30年度 上半期



静岡県

目 次

第1	平成29年度決算のあらまし	1
1	一般会計の決算	1
2	特別会計の決算	11
3	一般会計と特別会計の決算総額	12
4	県民1人当たりの歳入歳出決算額の状況（一般会計決算）	13
5	県債現在高	14
第2	平成30年度上半期 補正予算のあらまし	15
1	平成30年度9月補正予算	15
2	県債の状況	23
第3	県税の概要と県民負担のあらまし	24
1	平成29年度決算	24
2	平成30年度収入	25
3	県民の租税負担	26
第4	平成30年度上半期の収支の状況	27
1	一般会計の収支状況	27
2	特別会計の収支状況	29
第5	県有財産のあらまし	31
1	公有財産	31
2	基金	34
第6	県の財政状況の推移	36
1	一般会計歳入決算の推移	36
2	一般会計歳出最終予算の推移	37
3	一般会計の県債の状況	38
4	基金残高の状況	39
5	健全化判断比率等の状況	40
第7	公営企業に係る業務の状況	41
1	工業用水道事業	41
2	水道事業	46
3	地域振興整備事業	51
4	県立静岡がんセンター事業	56

第1 平成29年度決算のあらまし

1 一般会計の決算

歳入 1兆2,277億7,400万円（予算現額に対する収入率96.1%）
 歳出 1兆2,149億500万円（執行率95.1%）

〔第1表〕一般会計収支状況

（単位：百万円・%）

区 分	29 年 度				28 年 度 決 算 額 (C)	比 較	
	予算現額 (A)	決 算 額 (B)	差 引 (B)-(A)	執 行 率 (B)/(A)		(B)-(C) (D)	(D)/(C)
歳 入 (7)	1,277,153	1,227,774	△49,379	96.1	1,215,978	11,796	1.0
歳 出 (4)	1,277,153	1,214,905	△62,248	95.1	1,201,907	12,998	1.1
形 式 収 支 (7)-(4)	0	12,869	—	—	14,071	△1,202	△8.5
繰越事業へ 充当する財源 (8)	—	7,851	—	—	8,569	△718	△8.4
実 質 収 支 (7)-(8)	—	5,018	—	—	5,502	△484	△8.8
単年度収支	—	△484	—	—	△154	△330	—

（注）予算現額、決算額とも繰越額を含む（以下「一般会計の決算」の項の各表において同じ）。

単年度収支は、本年度と前年度の実質収支の差を示す。

〔第2表〕繰越の状況

(単位：百万円・%)

区 分	30年度への繰越額 (A)	28年度からの繰越額 (B)	比 較		
			(A)-(B)	(A)/(B)	
目的別	危機管理費	2,602	602	2,000	432.2
	経営管理費	6	59	△53	10.2
	くらし・環境費	100	267	△167	37.5
	文化・観光費	381	718	△337	53.1
	健康福祉費	3,086	1,820	1,266	169.6
	経済産業費	5,348	7,317	△1,969	73.1
	交通基盤費	35,242	37,354	△2,112	94.3
	警察費	0	60	△60	皆減
	教育費	7	429	△422	1.6
	災害対策費	1,652	148	1,504	1,116.2
	政策企画費	—	4	△4	皆減
	性質別	補助事業費	35,801	34,395	1,406
単独事業費		10,315	13,144	△2,829	78.5
災害復旧事業費		1,652	148	1,504	1116.2
その他		656	1,091	△435	60.1
計		48,424	48,778	△354	99.3
財源	未収入特定財源	40,573	40,209	364	100.9
	一般財源	7,851	8,569	△718	91.6

(注) 一般財源には、既収入特定財源を含む。

〔第3表〕一般会計決算額の推移

(単位：百万円・%)

年度	予 算 額	歳 入 決算額 (A)	歳 出 決算額 (B)	形 式 支 収 (A)-(B) (C)	翌年度への繰越額		実 質 収 支 (C)-(D)	単年度収 支	対前年度伸率	
					歳 出	左のうち 充当財源 (D)			歳 入 決算額	歳 出 決算額
19	1,172,243	1,142,810	1,132,400	10,410	31,612	4,324	6,086	224	100.8	100.9
20	1,175,816	1,143,493	1,134,007	9,486	31,418	3,741	5,745	△341	100.1	100.1
21	1,263,580	1,214,551	1,204,018	10,533	45,632	4,880	5,653	△92	106.2	106.2
22	1,207,158	1,168,527	1,154,082	14,445	41,767	8,647	5,798	145	96.2	95.9
23	1,194,106	1,149,794	1,134,948	14,846	45,623	9,270	5,576	△222	98.4	98.3
24	1,216,804	1,152,793	1,136,004	16,789	66,722	10,815	5,974	398	100.3	100.1
25	1,221,114	1,180,372	1,157,359	23,013	49,847	11,792	11,221	5,247	102.4	101.9
26	1,245,679	1,196,739	1,180,079	16,660	44,812	10,845	5,815	△5,406	101.4	102.0
27	1,259,863	1,227,284	1,213,589	13,695	34,673	8,039	5,656	△159	102.6	102.8
28	1,260,526	1,215,978	1,201,907	14,071	48,778	8,569	5,502	△154	99.1	99.0
29	1,277,153	1,227,774	1,214,905	12,869	48,424	7,851	5,018	△484	101.0	101.1

(注) 平成 25 年度の実質的収支は、26 年度分を前倒しして受け入れた寄附金 50 億円を除くと、62 億 21 百万円の黒字である。

(1) 29年度歳入決算

歳入決算額 1兆2,277億7,400万円(前年度比117億9,600万円、1.0%の増)

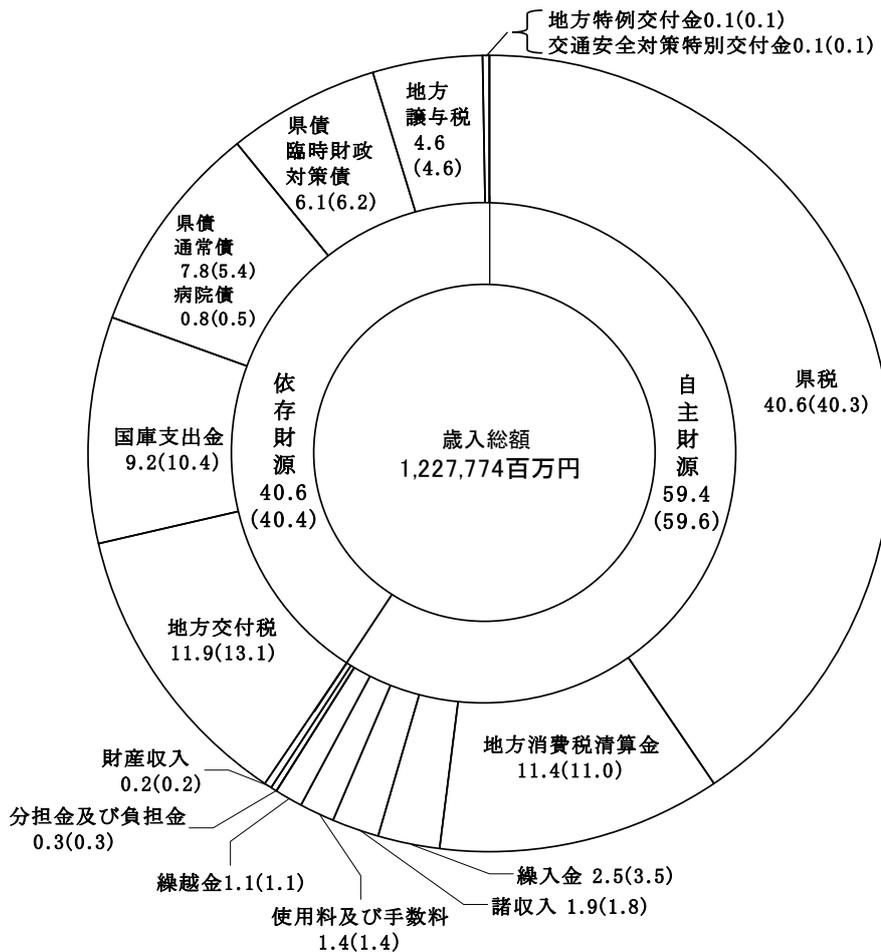
〔第4表〕一般会計歳入決算状況

(単位：百万円・%)

款 別	29 年 度					28 年 度 決 算 額 (C)	比 較	
	予算現額 (A)	決 算 額 (B)	予 算 に 対 する 増 減 (B) - (A)	左 の 内 訳			(B) - (C) (D)	(D) / (C)
				繰 越 に 伴 う も の	そ の 他			
県 税	495,600	498,981	3,381	0	3,381	490,331	8,650	1.8
地 方 消 費 税 金 清 算	139,798	139,798	0	0	0	134,051	5,747	4.3
地 方 譲 与 税	57,100	57,243	143	0	143	55,345	1,898	3.4
地 方 特 例 交 付 金	1,496	1,496	0	0	0	1,721	△225	△13.1
地 方 交 付 税	145,377	145,634	257	0	257	159,423	△13,789	△8.6
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,200	1,203	3	0	3	1,228	△25	△2.0
分 担 金 及 び 負 担 金	3,618	3,626	8	0	8	3,610	16	0.4
使 用 料 及 び 手 数 料	16,862	16,860	△2	0	△2	16,973	△113	△0.7
国 庫 支 出 金	138,993	113,361	△25,632	△22,251	△3,381	126,002	△12,641	△10.0
財 産 収 入	1,777	1,848	71	0	71	1,969	△121	△6.1
寄 附 金	134	140	6	0	6	170	△30	△17.6
繰 入 金	35,309	30,879	△4,430	0	△4,430	41,937	△11,058	△26.4
繰 越 金	14,071	14,071	0	0	0	13,695	376	2.7
諸 収 入	23,032	22,737	△295	△13	△282	22,333	404	1.8
県 債	202,786	179,897	△22,889	△18,309	△4,580	147,190	32,707	22.2
計	1,277,153	1,227,774	△49,379	△40,573	△8,806	1,215,978	11,796	1.0

〔第1図〕 一般会計歳入決算構成比

(単位：%)



(注) () 内の数字は'28年度決算の構成比

memo 自主財源と依存財源

県の収入には、県が自主的に確保できる収入（県税、地方消費税清算金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入）と、国が定めた額を交付されたり、割り当てられる収入（地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金、県債など）があります。

前者を自主財源、後者を依存財源といますが、地方財政の自主性を発揮するためには、できるだけ自主財源が多い方が望ましいといえます。

memo 特定財源と一般財源等

歳入の分析では、使途が特定されている財源（分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫支出金、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入、県債）を特定財源というのに対し、その使途が特定されずに自由に使える財源（県税、地方消費税清算金、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債、減収補填債、交通安全対策特別交付金、繰越金、並びに一般財源扱いとなる分担金及び負担金、使用料及び手数料、国庫支出金、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入など）を一般財源等といます。

県の自主的な判断により事業を行うためには、一般財源等が多いことが望ましいといえます。

〔第 5 表〕一般会計歳入決算の推移

項 目		24 年 度		25 年 度	
		決算額	構成比	決算額	構成比
一 般 財 源 等	県 税 (自主)	406,286	35.2	423,214	35.9
	地 方 消 費 税 清 算 金 (")	76,031	6.6	75,378	6.4
	地 方 譲 与 税 (依存)	50,750	4.4	60,686	5.1
	地 方 特 例 交 付 金 (")	1,666	0.1	1,645	0.1
	地 方 交 付 税 (")	164,739	14.3	155,506	13.2
	臨 時 財 政 対 策 債 (")	125,898	10.9	128,431	10.9
	減 収 補 填 債 (特例分) (")	—	—	—	—
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 (")	1,326	0.1	1,302	0.1
	繰 越 金 (自主)	14,847	1.3	16,788	1.4
	そ の 他 (自主・依存)	30,105	2.7	33,381	2.8
	小 計	871,648	75.6	896,331	75.9
特 定 財 源	分 担 金 及 び 負 担 金 (自主)	2,678	0.2	2,257	0.2
	使 用 料 及 び 手 数 料 (")	6,788	0.6	6,494	0.6
	国 庫 支 出 金 (依存)	130,942	11.4	145,363	12.3
	財 産 収 入 (自主)	1,753	0.2	1,530	0.1
	寄 附 金 (")	10,596	0.9	10,099	0.9
	繰 入 金 (")	34,795	3.0	33,646	2.8
	諸 収 入 (")	14,380	1.2	14,174	1.2
	県 債 (依存)	79,213	6.9	70,478	6.0
	小 計	281,145	24.4	284,041	24.1
計		1,152,793	100.0	1,180,372	100.0
自 主 財 源		598,130	51.9	616,769	52.3
依 存 財 源		554,663	48.1	563,603	47.7

(単位:百万円・%)

26 年 度		27 年 度		28 年 度		29 年 度	
決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
447,769	37.4	488,268	39.8	490,331	40.3	498,981	40.6
91,403	7.6	149,570	12.2	134,051	11.0	139,798	11.4
72,420	6.1	65,834	5.4	55,345	4.6	57,243	4.6
1,612	0.1	1,650	0.1	1,721	0.1	1,496	0.1
155,558	13.0	151,525	12.4	159,423	13.1	145,634	11.9
121,101	10.1	83,845	6.8	74,982	6.2	74,303	6.1
—	—	—	—	2,737	0.2	16,597	1.4
1,163	0.1	1,260	0.1	1,228	0.1	1,203	0.1
23,013	1.9	16,660	1.4	13,695	1.1	14,071	1.1
34,142	2.9	27,083	2.1	25,131	2.1	21,532	1.8
948, 181	79. 2	985, 695	80. 3	958, 644	78. 8	970, 858	79. 1
1,808	0.2	2,181	0.2	2,442	0.2	2,337	0.2
9,333	0.8	11,746	0.9	14,035	1.2	13,968	1.2
128,860	10.8	127,040	10.4	126,001	10.4	113,352	9.2
1,398	0.1	1,280	0.1	1,061	0.1	981	0.1
5,258	0.4	95	0.0	158	0.0	133	0.0
23,824	2.0	23,165	1.9	31,372	2.6	24,182	1.9
13,268	1.1	14,305	1.2	12,794	1.0	12,966	1.1
64,809	5.4	61,777	5.0	69,471	5.7	88,997	7.2
248, 558	20. 8	241, 589	19. 7	257, 334	21. 2	256, 916	20. 9
1, 196, 739	100. 0	1, 227, 284	100. 0	1, 215, 978	100. 0	1, 227, 774	100. 0
651,150	54.4	734,352	59.8	725,068	59.6	728,940	59.4
545,589	45.6	492,932	40.2	490,910	40.4	498,834	40.6

(2) 29年度歳出決算

歳出決算額 1兆2,149億500万円(前年度比129億9,800万円、1.1%の増)

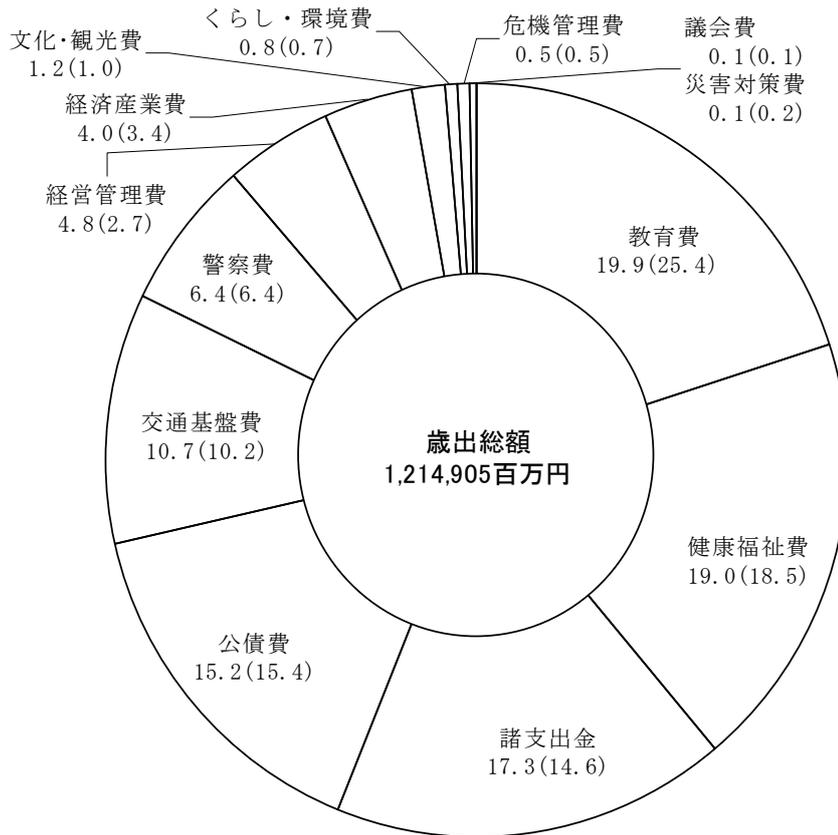
〔第6表〕一般会計歳出決算状況(目的別)

(単位：百万円・%)

款別	29年度				28年度 決算額 (C)	比較	
	予算現額 (A)	決算額 (B)	(A)-(B)の内訳			(B)-(C) (D)	(D)/(C)
			翌年度 繰越額	不用額			
1 議会費	1,980	1,898	0	82	1,925	△27	△1.4
2 危機管理費	9,308	6,331	2,602	375	5,830	501	8.6
3 経営管理費	59,859	58,922	6	931	32,274	26,648	82.6
4 暮らし・環境費	9,516	9,279	100	137	8,055	1,224	15.2
5 文化・観光費	15,632	14,983	381	268	11,608	3,375	29.0
6 健康福祉費	236,050	230,447	3,086	2,517	222,080	8,367	3.8
7 経済産業費	55,943	48,567	5,348	2,028	41,398	7,169	17.3
8 交通基盤費	167,699	129,683	35,242	2,774	122,903	6,780	5.5
9 警察費	77,673	77,371	0	302	77,238	133	0.2
10 教育費	242,400	241,257	7	1,136	305,298	△64,041	△21.0
11 災害対策費	4,650	1,252	1,652	1,746	2,000	△748	△37.4
12 公債費	184,941	184,928	0	13	184,778	150	0.1
13 諸支出金	211,317	209,987	0	1,330	175,489	34,498	19.7
14 予備費	185	0	0	185	0	0	0.0
政策企画費	-	-	-	-	11,031	△11,031	皆減
歳出計	1,277,153	1,214,905	48,424	13,824	1,201,907	12,998	1.1

〔第2図〕一般会計歳出決算構成比（目的別）

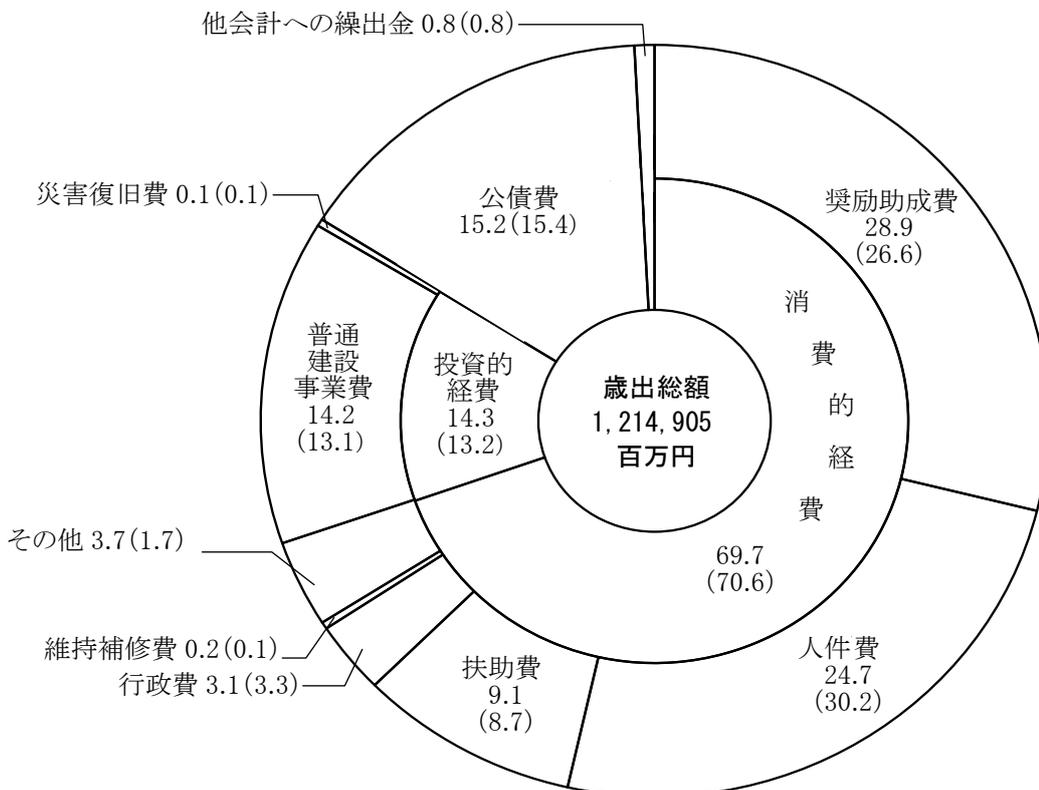
（単位：％）



（注）（ ）内の数字は28年度決算の構成比

〔第3図〕一般会計歳出決算構成比（性質別）

（単位：％）



（注）（ ）内の数字は28年度決算の構成比

〔第7表〕一般会計歳出決算状況（性質別）

（単位：百万円・％）

区 分	29年度				28年度 決算額 (C)	比 較		
	予算現額 (A)	決算額 (B)	(A)-(B)の内訳			(B)-(C) (D)	(D)/(C)	
			翌年度 繰越額	不用額				
義務的経費	人件費(消)	302,414	300,597	0	1,817	363,278	△62,681	△17.3
	扶助費(〃)	110,462	110,056	0	406	104,964	5,092	4.9
	公債費(公)	184,941	184,928	0	13	184,778	150	0.1
	災害復旧費(投)	4,518	1,135	1,651	1,732	1,752	△617	△35.2
	小計	602,335	596,716	1,651	3,968	654,772	△58,056	△8.9
義務的経費以外	行政費(消)	39,638	37,699	38	1,901	40,190	△2,491	△6.2
	維持補修費(〃)	2,268	2,237	15	16	1,179	1,058	89.7
	奨励助成費(〃)	354,812	351,135	190	3,487	319,324	31,811	10.0
	普通建設事業費(投)	223,163	172,878	46,245	4,040	156,989	15,889	10.1
	繰出金(繰)	10,129	9,958	0	171	9,721	237	2.4
	その他(消)	44,808	44,282	285	241	19,732	24,550	124.4
	小計	674,818	618,189	46,773	9,856	547,135	71,054	13.0
計	1,277,153	1,214,905	48,424	13,824	1,201,907	12,998	1.1	
消費的経費	854,401	846,005	527	7,869	848,667	△2,662	△0.3	
投資的経費	227,682	174,014	47,897	5,771	158,741	15,273	9.6	
公債費	184,941	184,928	0	13	184,778	150	0.1	
他会計への繰出金	10,129	9,958	0	171	9,721	237	2.4	

- (注) (消) 消費的経費
(投) 投資的経費
(公) 公債費
(繰) 他会計への繰出金

2 特別会計の決算

歳入 4,712億5,600万円（予算現額に対する収入率 99.9%）
 歳出 4,680億1,200万円（執行率 99.3%）

〔第8表〕特別会計歳入歳出決算状況

（単位：百万円・%）

会 計 名	予算現額 (A)	歳 入 決算額 (B)	歳 出 決算額 (C)	形式収支 (B) - (C)	予算に対する比率	
					歳 入 (B) / (A)	歳 出 (C) / (A)
公 債 管 理	423,268	423,261	423,261	0	99.9	99.9
自動車税等証紙徴収事務	5,019	4,701	4,701	0	93.7	93.7
県 営 住 宅 事 業	12,429	11,840	11,655	185	95.3	93.8
母子父子寡婦福祉資金	666	690	615	75	103.6	92.4
心身障害者扶養共済事業	660	658	658	0	99.7	99.7
中小企業高度化資金等 中貸付高事業	9,836	12,096	9,829	2,267	123.0	99.9
林 業 改 善 資 金	305	280	18	262	91.8	5.9
沿岸漁業改善資金	241	241	19	222	99.9	7.9
清水港等港湾整備事業	10,658	10,100	9,968	132	94.8	93.5
流域下水道事業	6,163	5,729	5,628	101	93.0	91.3
物品調達事務等	2,036	1,660	1,660	0	81.5	81.5
合 計	471,281	471,256	468,012	3,244	99.9	99.3

（注） 表示単位未満四捨五入の関係で、各会計の総和と合計が一致しない場合がある。

3 一般会計と特別会計の決算総額

歳入総額 1兆5,061億4,600万円
 歳出総額 1兆4,900億3,300万円

※形式収支で161億1,300万円、実質収支で80億3,000万円の黒字

〔第9表〕一般会計・特別会計決算状況

(単位：百万円・%)

区 分	予算現額	歳入 決算額 (A)	歳出 決算額 (B)	形 式 収 支 (A)－(B) (C)	翌年度 への繰越 事業充当 財源(D)	実 質 収 支 (C)－(D)
一 般 会 計	1,277,153	1,227,774	1,214,905	12,869	7,851	5,018
特 別 会 計	471,281	471,256	468,012	3,244	232	3,012
合 計 (7)	1,748,434	1,699,030	1,682,917	16,113	8,083	8,030
両会計間の重複額 (4)	193,292	192,884	192,884	-	-	-
純 計※ (7)－(4)	1,555,142	1,506,146	1,490,033	16,113	8,083	8,030
28年度純計	1,514,272	1,468,631	1,453,067	15,564	8,730	6,834
伸 び 率 $\left(\frac{29年度}{28年度} \right)$	102.7	102.6	102.5	103.5	92.6	117.5

※ 純計：一般会計と特別会計の決算額には、両会計間の繰出金・繰入金を含んでいるため、一般会計と特別会計を合わせた決算額としては、両会計間での繰出金・繰入金による重複額を差し引いた額を純計としている。

4 県民 1 人当たりの歳入歳出決算額の状況（一般会計決算）

県民 1 人当たり

歳 入 335,780 円
 歳 出 332,260 円

※静岡県的人口：3,656,487 人（静岡県推計人口平成30年10月1日現在）

〔第 10 表〕 県民 1 人当たりの歳入歳出決算額の状況

(単位：円)

歳 入		歳 出		
県 税 等	174,698	義務的経費	人 件 費	82,209
地 方 交 付 税 等	56,222		扶 助 費	30,099
県 債	49,199		公 債 費	50,575
国 庫 支 出 金	31,003		災 害 復 旧 費	310
繰 入 金	8,445	義務的経費以外	行 政 費	10,310
諸 収 入	6,218		維 持 補 修 費	612
使用料・手数料	4,611		奨 励 助 成 費	96,031
そ の 他	5,384		普 通 建 設 事 業 費	47,280
			繰 出 金	2,723
			そ の 他	12,111
歳入計 (A)	335,780	歳出計 (B)	332,260	

歳 入 歳 出 差 引 (A) - (B) = (C)	3,520 円
翌年度に繰り越した 事業の財源とする額 (D)	2,147 円
実 質 収 支 (C) - (D)	1,373 円

5 県債現在高

〔第11表〕県債現在高

(単位：百万円)

会 計 名	平成30年 4月1日 現在高	同 左 借 入 先 別 内 訳						
		財政融資 資金	郵便貯金	簡易保険	地方公共 団体金融 機構	市場公募	銀行等	
一 般 会 計	2,735,265	90,618	2,258	7,632	37,142	2,167,793	429,822	
特 別 会 計 及 び 企 業 会 計	県 営 住 宅	19,841	358	0	1,494	324	0	17,665
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉	3,546	0	0	0	0	0	3,546
	中 小 企 業 高 度 業 化	8,626	0	0	0	0	0	8,626
	清 水 港 等 整 備	27,176	14,785	0	218	907	0	11,266
	流 域 下 水 道	9,822	5,402	0	0	2,419	0	2,001
	工 業 用 水 道	9,023	2,803	0	0	6,220	0	0
	水 道	14,615	9,104	0	0	5,511	0	0
	が ん セ ン タ ー	38,092	16,550	0	2,797	5,017	0	13,728
	小 計	130,741	49,002	0	4,509	20,398	0	56,832
合 計	2,866,006	139,620	2,258	12,141	57,540	2,167,793	486,654	

第2 平成30年度上半期 補正予算のあらまし

1 平成30年度9月補正予算

(1) 予算編成の基本方針

9月補正予算は、大阪府北部地震及び平成30年7月豪雨災害を踏まえた防災・減災対策の充実・強化や、「美しい“ふじのくに”」づくりを加速化する取組に必要な経費等について対応しました。

〔第12表〕9月補正予算の規模

(単位：百万円)

区 分	補正前の額	9月補正	累 計
一般会計	1,187,200	2,834	1,190,034
特別会計	816,407	54	816,461
企業会計	70,186	—	70,186
合 計	2,073,793	2,888	2,076,681

(2) 主要事業

1 大阪府北部地震及び平成30年7月豪雨災害を踏まえた防災・減災対策の充実・強化等

〈大阪府北部地震を踏まえた対策〉

- 住宅等の危険なブロック塀等の撤去、改善を支援する市町に対する助成を拡充
- 県有施設のブロック塀等の安全対策（児童福祉施設、県立学校 等）

〈平成30年7月豪雨災害を踏まえた対策〉

- 災害時の適切な避難行動を促すため、情報提供アプリケーションを構築（避難先検索 等）
- 風水害に対する意識を喚起するため、風水害対策等の普及啓発を強化（啓発映像の製作 等）
- 豪雨災害等における企業の事業活動へのリスク対策を促進するため、県内中小企業のBCP（事業継続計画）策定を支援（BCPモデルプランの改訂 等）
- ため池の決壊防止及び洪水調節機能向上のための補強対策を実施（堤体補強、洪水吐改修 等）
- 土石流等によるため池の決壊被害を防止するため、危険度調査及び決壊防止の施設計画を策定
- 河川の氾濫等による被害を軽減するため、河川・砂防施設等の緊急防災対策を実施（河床掘削 等）
- 災害時の拠点（役場、病院）所在地等の河川の洪水浸水想定区域図を作成し、市町のハザードマップ作成を促進

2 「美しい“ふじのくに”」づくりを加速化する取組

〈命を守る安全な地域づくり〉

- 災害時における外国人被災者の安全確保のため、災害時多言語支援センターの体制を整備（多言語相談員の確保・研修、Wi-Fi環境整備 等）

- 原子力防災体制の強化を図るため、屋内退避施設を整備する市町に対して助成（牧之原市）
- 大規模災害発生時における重症者等の航空搬送拠点の医療用資機材等の更新（愛鷹広域公園、静岡空港、航空自衛隊浜松基地）

＜安心して暮らせる医療・福祉の充実＞

- 地域包括ケアシステムを構築するため、高齢者の自立した日常生活を支える多様なサービスの創出等を支援（地域分析アドバイザー派遣 等）
- 介護職員の負担を軽減するため、最新技術を活用した介護機器（見守り機器）を導入する介護事業所に対して助成
- 静岡県手話言語条例の周知・啓発及び手話の普及を推進するため、手話習得講座等を開催（企業管理者等向け啓発講座 等）
- 障害者スポーツの裾野を拡大するため、パラサイクリングの体験機会を提供（サポーター養成講習会 等）
- 浜松学園におけるICT科の設置等に伴う備品等の整備（訓練用パソコン、訪問面談用車両 等）
- 静岡県受動喫煙防止条例の制定に合わせ、飲食店等への制度の周知・啓発（分煙対策等相談会 等）
- 健康寿命の更なる延伸を図るため、健康づくり活動を行う事業所等に対して助成
- 地域医療構想における病床の機能分化を図るため、病床転換に加え、病床の最適化に取り組む病院に対して助成（池田病院）
- 救急医療体制を強化するため、救急患者退院コーディネーターを配置する医療施設等に対して助成（救命救急センター 11 病院）
- 救急医療体制等を強化するため、医療機器の整備を支援する病院等に対して助成（浜松医科大学 等）
- 周産期医療体制を充実するため、施設等を整備する分娩取扱施設に対する助成を拡充

＜子どもが健やかに学び育つ社会の形成＞

- 幼稚園教員の確保・定着を促進するため、教員の給与改善を行う私立幼稚園に対して助成
- 児童虐待を防止するため、市町における子ども家庭総合支援拠点の設置を促進
- 教員の多忙化を解消するため、事務作業を支援するスタッフの配置を拡充

＜誰もが活躍できる社会の実現＞

- 本県で活躍しようと思う若者の増加を図るため、大学へ進学する高校生等に静岡県の情報を発信（ホームページ周知用カードの発行 等）
- 外国人技能実習生のスキルアップのため、外国人技能検定に向けた支援を拡充

＜富をつくる産業の展開＞

- 健康寿命の更なる延伸を図るため、産学官による研究・人材育成、健康産業の創生を推進
- IoT技術や設備の導入を促進するため、工業技術研究所を改修
- AIやIoTなどの先端技術に対応できる人材を育成するため、産学官連携による推進体制を構築（ふじのくにICT人材育成協議会の設置 等）
- EV（電気自動車）化や自動運転化の対応を促進するため、中小企業等の取組を支援（EV等の搭載部品の試作品助成 等）
- 地域素材を生かした化粧品開発を促進するため、県産農林水産物を活用した化粧品素材を開発
- 後継者不在事業者の事業承継を推進するため、後継者候補の掘り起こしを図るセミナー、相談会等を開催
- 農業の生産性向上を促進するため、種苗の海外展開に向けた取組等を支援
- 県産農産物の輸出拡大を促進するため、国内GAPから農産物の輸出に必要な国際水準GAPへの切替を支援
- 需要の変化に対応した茶生産への転換を加速化するため、生産構造改革に向けた設備等を導入する経営体を支援

- 首都圏等で需要の拡大が期待される野菜の生産拡大を図るため、鉄骨ハウスを整備する認定農業者等に対する助成を拡充
- 野菜や花き等の施設園芸の生産性を向上するため、高度環境制御技術の導入を支援
- 住宅地周辺の豚舎等の臭気問題を解消するため、モデル農場で臭気対策の効果を検証（湖西市鷺津地区 等）
- 温水利用研究センターの濾過機を修繕

＜多彩なライフスタイルの提案＞

- 浜名湖地域観光関係団体等と連携し、デスティネーションキャンペーンに合わせ、フェスタを開催するための準備
- 浜名湖ガーデンパークの施設の修繕（イギリス庭園茅葺屋根の家 等）
- イスラム教徒（ムスリム）の来訪者の増加に対応するため、飲食店の受入環境等の整備を支援（アドバイザーによるコンサルティング 等）

＜“ふじのくに”の魅力の向上と発信＞

- 東静岡周辺地区の新たな賑わいの創出と民間参画の促進を図るため、東静岡駅南口エリアの空間デザインを作成
- 魅力あるスポーツ環境を構築するため、アスリートの活動環境等を調査
- 大規模大会の誘致によるスポーツ振興を促進するため、県ソフトボール場（富士宮市）を改修
- ラグビーワールドカップ 2019 の開催に向けた機運醸成を図るため、ラグビーの歴史等を学ぶ小中学生向け教本の作成
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車ロードレース沿線の森林景観を整備するための計画を策定
- ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピックのための警備対策機材を整備

＜世界の人々との交流の拡大＞

- 増加する訪日個人旅行者を誘客するため、外国人向け旅行商品の企画・販売を強化（サイクリング等テーマツーリズムの商品化 等）
- 県産品の輸出拡大を促進するため、専用資材の開発や実証試験に取り組む団体に対して助成

【駿河湾フェリーを活用した誘客対策】

- 駿河湾フェリーを活用した環駿河湾地域の周遊を促進（乗用車の乗船料割引 等）
- 駿河湾の魅力を開発するため、駿河湾フェリーの体験乗船や船上での魅力啓発講座等を実施
- 駿河湾フェリーの運航継続に向けて、運営体制や経済波及効果などを調査

＜政策の実効性を高める行政経営＞

- 業務を効率化し、県庁の働き方改革を推進するため、パソコン操作を自動化するソフトウェアの導入を拡充

3 その他

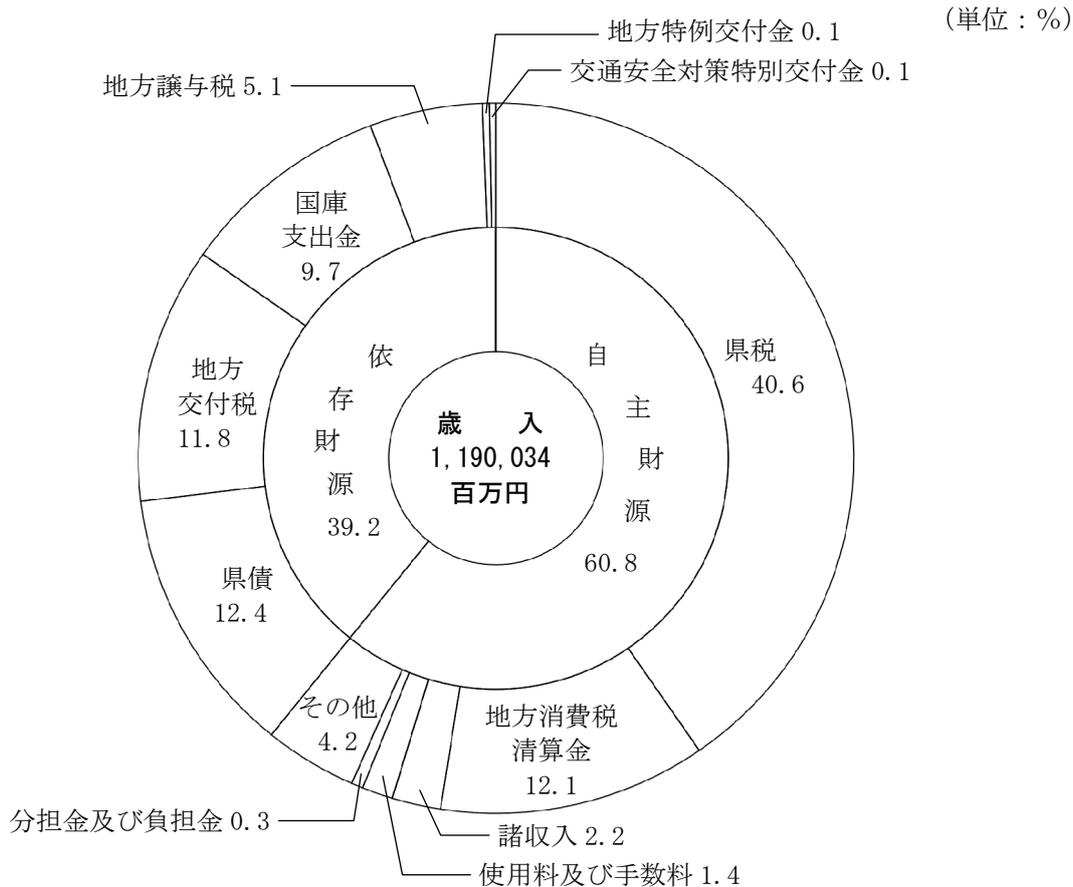
＜債務負担行為＞

- 地震防災センターのリニューアルに向けた展示製作及び施設改修工事
- 農林大学の専門職大学への移行に併せた学生寮の整備
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの大会後に県民が利用可能なマウンテンバイクコースの整備等に係る費用を負担
- 道路、河川等の工事において、発注工事量の平準化や雨期前対策等を実施

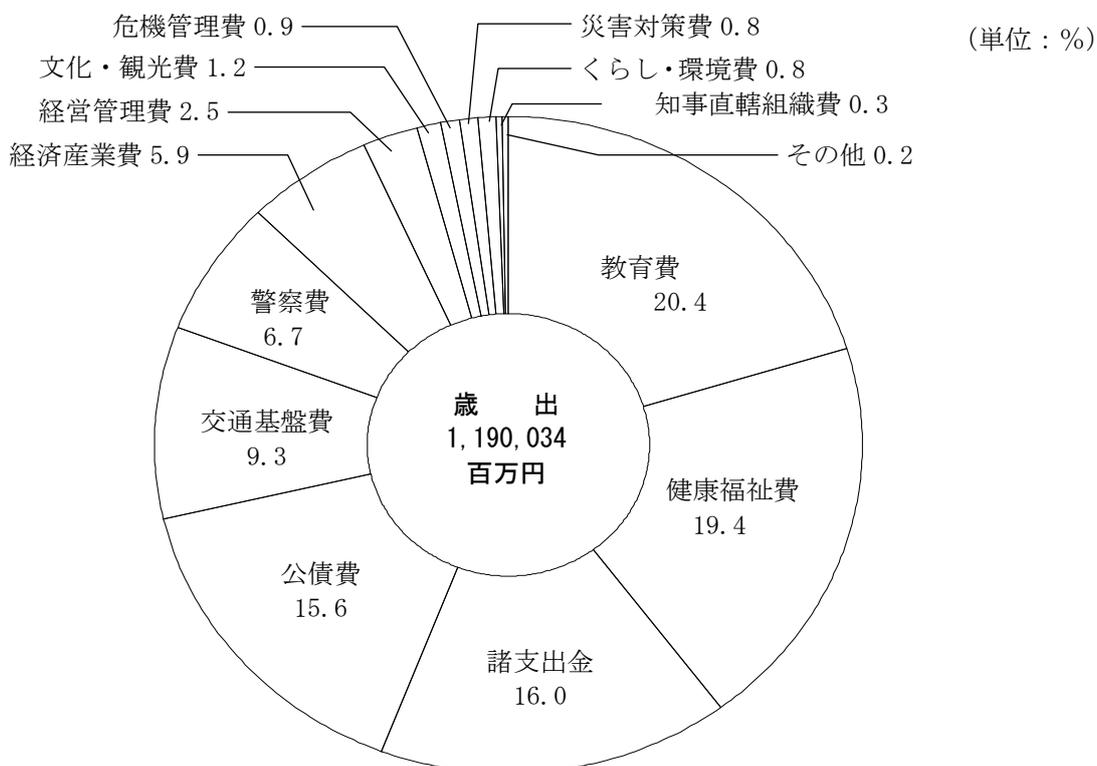
＜特別会計＞

- 社会保険診療報酬支払基金への前期高齢者納付金の納付及び市町国保の保健事業への支援 ほか

〔第4図〕一般会計歳入予算構成比（30年度9月現計）



〔第5図〕一般会計歳出予算構成比（30年度9月現計）



〔第13表〕一般会計歳入予算の前年度比較

(単位：百万円・%)

区分	30年度			29年度 最終予算額 (B)	比較		構成比	
	当初	9月補正 予算額	累計 (A)		(A)-(B)	(A)/(B)	30年度	29年度
							累計	最終
県	483,000	0	483,000	495,600	△ 12,600	97.5	40.6	40.3
地方消費税清算金()	143,751	0	143,751	139,798	3,953	102.8	12.1	11.4
地方譲与税(依)	60,700	0	60,700	57,100	3,600	106.3	5.1	4.7
地方特例交付金()	1,740	0	1,740	1,496	244	116.3	0.1	0.1
地方交付税()	140,500	0	140,500	145,377	△ 4,877	96.6	11.8	11.8
臨時財政対策債及び減収補填債(特例分)	76,000	0	76,000	93,509	△ 17,509	81.3	6.4	7.6
交通安全対策特別交付金()	1,100	0	1,100	1,200	△ 100	91.7	0.1	0.1
繰越金(自)	3,000	1,850	4,850	5,502	△ 652	88.1	0.4	0.5
その他の()	21,590	0	21,590	16,801	4,789	128.5	1.8	1.4
小計	931,381	1,850	933,231	956,383	△ 23,152	97.6	78.4	77.9
分担金及び負担金(自)	3,329	24	3,353	3,606	△ 253	93.0	0.3	0.3
使用料及び手数料()	13,962	0	13,962	13,952	10	100.1	1.2	1.1
国庫支出金(依)	114,711	628	115,339	119,379	△ 4,040	96.6	9.7	9.7
財産収入(自)	995	0	995	995	0	100.0	0.1	0.1
寄附金()	109	0	109	127	△ 18	85.8	0.0	0.0
諸収入()	17,525	5	17,530	13,487	4,043	130.0	1.5	1.1
繰入金()	33,679	90	33,769	31,709	2,060	106.5	2.8	2.6
県債(依)	71,509	237	71,746	88,737	△ 16,991	80.9	6.0	7.2
小計	255,819	984	256,803	271,992	△ 15,189	94.4	21.6	22.1
計	1,187,200	2,834	1,190,034	1,228,375	△ 38,341	96.9	100.0	100.0
自主財源	720,940	1,969	722,909	721,577	1,332	100.2	60.8	58.7
依存財源	466,260	865	467,125	506,798	△ 39,673	92.2	39.2	41.3

(注)平成29年度最終予算額は、28年度からの繰越額を含まないものである。

〔第14表〕一般会計歳出予算の前年度比較（目的別）

（単位：百万円・％）

款	別	30年度			29年度 最終予算額 (B)	比		構 成 比	
		当 初	9月補正 予算額	累 計 (A)		(A)－(B)	(A)/(B)	30年度 累計	29年度 最終
1	議 会 費	2,005	0	2,005	1,980	25	101.3	0.2	0.2
2	知事直轄組織費	3,218	145	3,363	—	3,363	皆増	0.3	—
3	危機管理費	10,086	70	10,156	8,706	1,450	116.7	0.9	0.7
4	経営管理費	30,284	6	30,290	59,738	△ 29,448	50.7	2.5	4.9
5	くらし・環境費	9,057	26	9,083	9,248	△ 165	98.2	0.8	0.7
6	文化・観光費	14,434	95	14,529	14,874	△ 345	97.7	1.2	1.2
7	健康福祉費	230,734	288	231,022	234,230	△ 3,208	98.6	19.4	19.1
8	経済産業費	69,680	766	70,446	48,626	21,820	144.9	5.9	4.0
9	交通基盤費	109,506	1,299	110,805	130,344	△ 19,539	85.0	9.3	10.6
10	警察費	80,096	28	80,124	77,613	2,511	103.2	6.7	6.3
11	教育費	242,057	111	242,168	241,971	197	100.1	20.4	19.7
12	災害対策費	9,663	0	9,663	4,487	5,176	215.4	0.8	0.4
13	公債費	185,764	0	185,764	184,941	823	100.4	15.6	15.0
14	諸支出金	190,316	0	190,316	211,317	△ 21,001	90.1	16.0	17.2
15	予備費	300	0	300	300	0	100.0	0.0	0.0
	計	1,187,200	2,834	1,190,034	1,228,375	△ 38,341	96.9	100.0	100.0

（注）平成29年度最終予算額は、28年度からの繰越額を含まないものである。

〔第15表〕一般会計歳出予算の前年度比較（性質別）

（単位：百万円・％）

性質別	30年度			29年度 最終予算額 (B)	比較		構成比	
	当初	9月補正 予算額	累計 (A)		(A)－(B)	(A)/(B)	30年度 累計	29年度 最終
義務的経費	人件費(消)	301,490	0	301,490	△ 924	99.7	25.3	24.6
	扶助費(〃)	114,343	6	114,349	3,887	103.5	9.6	9.0
	公債費(公)	185,764	0	185,764	823	100.4	15.6	15.0
	災害復旧費(投)	9,536	0	9,536	5,166	218.2	0.8	0.4
	小計	611,133	6	611,139	8,952	101.5	51.3	49.0
義務的経費以外	行政費(消)	43,369	457	43,826	4,370	111.1	3.7	3.2
	維持補修費(〃)	3,014	55	3,069	816	136.2	0.3	0.2
	奨励助成費(〃)	313,485	360	313,845	△ 40,741	88.5	26.4	28.9
	普通建設事業費(投)	174,113	1,956	176,069	421	100.2	14.8	14.3
	繰出金(繰)	30,065	0	30,065	19,936	296.8	2.5	0.8
	その他の(消)	12,021	0	12,021	△ 32,095	27.2	1.0	3.6
	小計	576,067	2,828	578,895	△ 47,293	92.4	48.7	51.0
	計	1,187,200	2,834	1,190,034	△ 38,341	96.9	100.0	100.0
	消費的経費	787,722	878	788,600	△ 64,687	92.4	66.3	69.5
	投資的経費	183,649	1,956	185,605	5,587	103.1	15.6	14.7
公債費	185,764	0	185,764	823	100.4	15.6	15.0	
他会計への繰出金	30,065	0	30,065	19,936	296.8	2.5	0.8	

(注) 平成29年度最終予算額は、28年度からの繰越額を含まないものである。

〔第16表〕特別会計予算

(単位：百万円・%)

会 計 名	30 年 度			29年度 最終予算額 (B)	比 較	
	当 初	9月補正 予算額	累 計 (A)		(A) - (B)	(A) / (B)
公 債 管 理	447,311	0	447,311	423,268	24,043	105.7
自動車税等証紙徴収事務	5,061	0	5,061	5,019	42	100.8
県 営 住 宅 事 業	12,680	0	12,680	12,380	300	102.4
母子父子寡婦福祉資金	660	0	660	666	△ 6	99.1
心身障害者扶養共済事業	675	0	675	660	15	102.3
国民健康保険事業	330,900	54	330,954	—	330,954	皆増
中小企業高度化資金等 貸付事業	5,498	0	5,498	9,836	△ 4,338	55.9
林業改善資金	397	0	397	305	92	130.1
沿岸漁業改善資金	235	0	235	242	△ 7	97.3
清水港等港湾整備事業	6,045	0	6,045	9,558	△ 3,513	63.3
流域下水道事業	4,562	0	4,562	5,750	△ 1,188	79.4
物品調達事務等	2,383	0	2,383	2,035	348	117.1
計	816,407	54	816,461	469,719	346,742	173.8

(注) 平成29年度最終予算額は、28年度からの繰越額を含まないものである。

2 県債の状況

〔第17表〕県債残高見込

(単位：百万円)

会 計 名	平成30年 4月1日 現在高	30年度中増減見込額				30年度末 残高 見込	
		当初予算	29年度 からの繰越	9月 補正予算	元金償還額		
一 般 会 計	2,735,265	147,509	18,309	237	154,530	2,746,790	
特 別 会 計 及 び 企 業 会 計	県 営 住 宅	19,841	3,158	351	-	1,978	21,372
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉	3,546	44	-	-	-	3,590
	中 小 企 業 高 度 化	8,626	1,903	-	-	2,234	8,295
	清水港等整備	27,176	2,019	481	-	2,346	27,330
	流域下水道	9,822	143	85	-	1,221	8,829
	工業用水道	9,023	1,409	-	-	980	9,452
	水 道	14,615	459	38	-	1,069	14,043
	がんセンター	38,092	1,557	-	-	4,091	35,558
	小 計	130,741	10,692	955	0	13,919	128,469
合 計	2,866,006	158,201	19,264	237	168,449	2,875,259	

第3 県税の概要と県民負担のあらまし

1 平成29年度決算

県税決算額 4,989億8,100万円（前年度比86億5,000万円の増）

景気の回復傾向等に伴い、前年度に比べ、法人二税が約7億円（前年度決算額対比0.5%）、個人県民税が約51億円（同3.5%）、自動車取得税が約16億円（同33.5%）、軽油引取税が約13億円（同3.6%）上回り、県税全体では前年度を約87億円（同1.8%）上回りました。

予算達成率 100.7%

〔第18表〕平成29年度県税決算状況

（単位：百万円・%）

税目	平成29年度				28年度 決算額 (C)	比較	
	予算額 (A)	決算額 (B)	予算 達成率 (B)/(A)	(B)の 構成比		(B)-(C) (D)	(D)/(C)
県税総額	495,600	498,981	100.7	100.0	490,331	8,650	1.8
法人県民税	17,734	17,910	101.0	3.6	16,572	1,338	8.1
法人事業税	116,975	119,891	102.5	24.0	120,573	△682	△0.6
法人二税計	134,709	137,801	102.3	27.6	137,145	656	0.5
個人県民税	150,032	150,225	100.1	30.1	145,088	5,137	3.5
利子割県民税	1,785	1,819	101.9	0.4	1,318	501	38.0
個人事業税	5,615	5,629	100.2	1.1	5,546	83	1.5
地方消費税	86,017	86,070	100.1	17.2	86,294	△224	△0.3
不動産取得税	11,201	11,268	100.6	2.3	11,489	△221	△1.9
県たばこ税	3,909	3,885	99.4	0.8	4,141	△256	△6.2
ゴルフ場利用税	2,533	2,516	99.3	0.5	2,597	△81	△3.1
自動車取得税	6,424	6,354	98.9	1.3	4,760	1,594	33.5
軽油引取税	38,093	38,136	100.1	7.6	36,813	1,323	3.6
自動車税	53,996	53,992	100.0	10.8	53,854	138	0.3
鉱区税	4	4	98.2	0.0	4	0	0.5
核燃料税	1,240	1,240	100.0	0.3	1,240	0	0.0
狩猟税	42	42	100.7	0.0	42	0	0.9
法人二税以外計	360,891	361,180	100.1	72.4	353,186	7,994	2.3

- (注) 1 「法人事業税」には、超過課税による収入額を含めている。
 2 「法人県民税」及び「個人県民税」には、「森林づくり県民税」による収入額を含めている。
 3 「軽油引取税」については、旧法分を含む。
 4 予算達成率及び前年度対比は、円単位で算出したものである。
 5 端数処理の関係で内訳と計が一致しない場合がある。

2 平成30年度収入

上半期（9月末現在）の県税収入の状況

収入額 2,517億6,000万円（前年同期比1.0%増）

予算達成率 52.1%

〔第19表〕平成30年度県税収入状況（平成30年9月30日現在）

（単位：百万円・%）

税目	平成30年度			前年度対比		予算達成率 (C)/(A)
	予算額 (A)	調定額 (B)	収入額 (C)	調定額	収入額	
県税総額	483,000	337,220	251,760	95.2	101.0	52.1
法人県民税	19,031	10,944	10,870	111.8	112.0	57.1
法人事業税	125,302	68,082	67,889	110.8	110.9	54.2
法人二税計	144,333	79,027	78,760	111.0	111.0	54.6
個人県民税	124,427	121,686	45,913	83.5	90.3	36.9
利子割県民税	1,472	1,015	1,016	106.0	106.0	69.0
個人事業税	5,701	5,704	2,780	102.0	101.7	48.8
地方消費税	87,716	42,493	42,493	98.2	98.2	48.4
不動産取得税	11,162	5,998	5,555	91.8	90.8	49.8
県たばこ税	3,742	1,906	1,905	93.9	93.9	50.9
ゴルフ場利用税	2,515	1,246	1,246	92.4	92.7	49.5
自動車取得税	6,746	3,126	2,755	102.7	102.4	40.8
軽油引取税	39,253	19,445	15,221	102.1	103.2	38.8
自動車税	54,647	54,951	53,492	100.2	101.1	97.9
鉱区税	4	4	4	99.6	99.6	97.8
核燃料税	1,240	620	620	100.0	100.0	50.0
狩猟税	42	0	0	—	—	0.0
法人二税以外計	338,667	258,194	173,000	91.2	97.0	51.1

- (注) 1 「法人事業税」には、超過課税による収入額を含めている。
 2 「法人県民税」及び「個人県民税」には、「森林づくり県民税」による収入額を含めている。
 3 「軽油引取税」については、旧法分を含む。
 4 予算達成率及び前年度対比は、円単位で算出したものである。
 5 収入額は、月末休日による納期限延長分を加算している。
 6 端数処理の関係で内訳と計が一致しない場合がある。

3 県民の租税負担

〔第20表〕県民の租税負担額の推移

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
租 税 収 入 額 (百万円) (A)	県 税	423,214	447,769	488,268	490,331	498,981
	市 町 村 税	625,280	641,651	629,817	630,902	638,016
	計	1,048,494	1,089,420	1,118,085	1,121,233	1,136,997
県 人 口 (千人) (B)		3,716	3,698	3,701	3,688	3,673
県 民 所 得 (億円) (C)		119,826	120,946	121,323	120,868	120,222
県 民 一 人 当 た り 租 税 負 担 額 (円) (A)/(B)	県 税	113,890	121,084	131,929	132,953	135,851
	市 町 村 税	168,267	173,513	170,175	171,069	173,704
	計	282,157	294,597	302,104	304,022	309,555
県 民 所 得 に 対 す る 租 税 負 担 率 (%) (D) = (A)/(C)	県 税	3.6	3.7	4.0	4.1	4.2
	市 町 村 税	5.2	5.3	5.2	5.2	5.3
	計	8.8	9.0	9.2	9.3	9.5

国 税	全 国 人 口 (千人) (E)	127,298	127,083	127,110	126,933	126,706
	国 民 所 得 (億円) (F)	3,629,000	3,676,000	3,742,000	3,934,000	4,029,000
	収 入 額 (億円) (G)	495,160	556,106	601,872	593,159	613,085
	国民一人当たり租税負担額 (円) (G)/(E)	388,977	437,593	473,505	467,301	483,864
	国民所得に対する租税負担率 (%) (H) = (G)/(F)	13.6	15.1	16.1	15.1	15.2

(参考)

県 民 の 租 税 負 担 率 (%) (D)+(H)	22.4	24.1	25.3	24.4	24.7
--------------------------------	------	------	------	------	------

- (注) 1 県の人口は、「静岡県推計人口年報」による各年10月1日現在の数値であり、27年度分は「国勢調査」による。
 2 県民所得は、「静岡県の県民経済計算(速報)」による。
 3 全国人口は、「人口推計」(総務省統計局)及び「国勢調査」(総務省統計局)による。
 4 国民所得、国税収入額は、「地方税に関する参考計数資料」(総務省自治税務局)による。
 5 県民の租税負担率は、県民所得に対する租税負担率と国民所得に対する租税負担率を足した参考数値である。

第4 平成30年度上半期の収支の状況

1 一般会計の収支状況

上半期（9月末現在）の予算に対する収支歩合

収入 45.8%（前年同期比0.7ポイントの減）

支出 31.3%（前年同期比0.4ポイントの増）

〔第21表〕平成30年度一般会計収支状況（平成30年9月30日現在）

その1 歳入

（単位：百万円・%）

款 別	30年度 予算現額 (A)	収入済額 (B)	収 入 歩 合	
			(B) / (A)	29年度
1 県 税	483,000	248,951	51.5	51.2
2 地方消費税清算金	143,751	81,040	56.4	57.9
3 地方譲与税	60,700	16,563	27.3	23.0
4 地方特例交付金	1,740	1,711	98.3	80.7
5 地方交付税	140,500	107,664	76.6	80.3
6 交通安全対策特別交付金	1,100	593	53.9	57.9
7 分担金及び負担金	3,341	96	2.9	1.7
8 使用料及び手数料	16,842	6,913	41.0	41.4
9 国庫支出金	136,961	23,667	17.3	16.6
10 財産収入	3,770	1,585	42.0	35.3
11 寄附金	118	58	49.2	84.0
12 繰入金	41,251	0	0.0	0.0
13 繰越金	10,851	12,869	118.6	121.6
14 諸収入	25,881	6,771	26.2	30.5
15 県債	165,818	57,766	34.8	47.5
歳入計	1,235,624	566,247	45.8	46.5

（注）30年度予算現額(A)欄は、29年度からの繰越分を含む。

その2 歳出

(単位:百万円・%)

款 別	30年度 予算現額 (A)	支出済額 (B)	支 出 歩 合	
			(B) / (A)	29年度
1 議 会 費	2,005	985	49.1	48.6
2 知事直轄組織費	3,218	1,238	38.5	—
3 危機管理費	12,688	1,230	9.7	15.5
4 経営管理費	30,290	10,775	35.6	35.4
5 くらし・環境費	9,157	2,207	24.1	27.8
6 文化・観光費	14,816	5,208	35.2	36.8
7 健康福祉費	233,820	73,839	31.6	28.8
8 経済産業費	79,772	19,651	24.6	26.1
9 交通基盤費	140,004	32,684	23.3	22.3
10 警 察 費	80,096	33,735	42.1	43.5
11 教 育 費	242,064	104,707	43.3	43.0
12 災 害 対 策 費	11,314	988	8.7	2.5
13 公 債 費	185,764	362	0.2	0.2
14 諸 支 出 金	190,316	99,653	52.4	50.4
15 予 備 費	300	0	0.0	0.0
歳 出 計	1,235,624	387,262	31.3	30.9

(注) 30年度予算現額(A)欄は、29年度からの繰越分を含む。

2 特別会計の収支状況

上半期（9月末現在）の予算に対する収支歩合

収 入 34.5%（前年同期比 8.0ポイントの増）

支 出 36.8%（前年同期比 0.4ポイントの増）

〔第22表〕平成30年度特別会計収支状況（平成30年9月30日現在）

（単位：百万円・%）

会 計 名	30年度 予算現額 (A)	収 入			支 出		
		収入済額 (B)	収 入 歩 合		支出済額 (C)	支 出 歩 合	
			(B) / (A)	29年度		(C) / (A)	29年度
公 債 管 理	447,311	106,058	23.7	24.9	149,470	33.4	37.0
自動車税等証紙徴収事務	5,061	2,394	47.3	50.5	2,173	42.9	45.5
県 営 住 宅 事 業	13,295	2,263	17.0	16.7	5,715	43.0	38.9
母子父子寡婦福祉資金	660	335	50.8	50.2	240	36.4	39.6
心身障害者扶養共済事業	675	208	30.8	30.8	209	31.0	31.1
国民健康保険事業	330,900	163,051	49.3	—	136,023	41.1	—
中小企業高度化資金等 中 貸 付 事 業	5,498	3,229	58.7	88.9	2,271	41.3	9.0
林 業 改 善 資 金	397	263	66.2	70.4	5	1.3	0.5
沿 岸 漁 業 改 善 資 金	235	241	102.6	126.2	9	3.8	0.5
清水港等港湾整備事業	6,625	2,175	32.8	21.2	2,427	36.6	35.0
流 域 下 水 道 事 業	5,014	1,553	31.0	33.1	2,059	41.1	42.5
物 品 調 達 事 務 等	2,383	405	17.0	18.1	413	17.3	18.4
計	818,054	282,175	34.5	26.5	301,014	36.8	36.4

（注）30年度予算現額(A)欄は、29年度からの繰越分を含む。

第5 県有財産のあらまし

1 公有財産

上半期中（4月～9月）の増減

土地 約0.1千㎡の増加

建物 約0.6千㎡の減少

〔第23表〕平成30年度上半期中における土地及び建物の主な増減

種別	区分	名称	面積 (㎡)	理由
土地	行政財産	水川中村急傾斜地崩壊危険区域	979.54	買 入 れ
	普通財産	横須賀高等学校職員住宅	△657.28	売 払 い
建物	行政財産	東部特別支援学校	8,425.07	新 築
		県営住宅今沢団地	△7,124.80	用 途 廃 止、撤 去
	普通財産	袋井公舎	△1,012.48	撤 去
		浜松東高等学校教職員住宅	958.17	売 払 い

memo 行政財産と普通財産

用語	解 説
行政財産	県が行政上の目的のために所有している財産で、県庁舎や警察施設など事務や事業に直接使用する「公用財産」と、学校や公園のように県民が使用する「公共用財産」があります。
普通財産	県が所有している財産のうち、ただちに特定の行政目的に用いられる予定がないもの。売払いにより県の収入源にすることがあります。

〔第24表〕 公有財産現在高

分類	区分 内 訳		不 動			
			土 地 (㎡)	建 物 (延 面 積)		
				木 造 (㎡)	非 木 造 (㎡)	計 (㎡)
政 府 財 産	公 用 財 産	本 庁 舎	22,048	-	91,744	91,744
		警 察 施 設	349,131	9,981	179,131	189,112
		そ の 他 の 施 設	2,981,180	4,377	325,175	329,552
		計	3,352,359	14,358	596,050	610,408
	公 共 用 財 産	学 校	4,611,365	7,437	1,481,523	1,488,960
		公 営 住 宅	1,292,603	1,428	938,597	940,025
		公 園	6,983,333	10,373	203,220	213,593
		そ の 他 の 施 設	8,448,929	17,276	439,275	456,551
		計	21,336,230	36,514	3,062,615	3,099,129
	山 林	21,996,082	1,206	247	1,453	
合 計	46,684,671	52,078	3,658,912	3,710,990		
普 通 財 産	公 舎	252,697	6,314	192,334	198,648	
	公 舎 以 外	690,232	821	61,695	62,516	
	山 林	-	-	-	-	
	合 計	942,929	7,135	254,029	261,164	
総 計			47,627,600	59,213	3,912,941	3,972,154
30 年 3 月 末 現 在 高			47,627,477	57,010	3,915,781	3,972,791
30 年 度 上 半 期 中 の 増 減 高			123	2,203	△ 2,840	△ 637
30 年 9 月 末 現 在 高			47,627,600	59,213	3,912,941	3,972,154

(注) この表から除いたもの

- 1 道路及び橋りょう、河川及び海岸、漁港並びに土地改良財産
- 2 地方公営企業の財務の適用を受ける財産

(平成 30 年 9 月 30 日現在)

産			動 産		そ の 他 の 権 利		
工 作 物 (個)	立 木 (㎡)	樹 木 (本)	船 舶 (隻)	航 空 機 (機)	特 許 権 等 (件)	地 上 権 等 (㎡)	有 価 証 券、 出 資 に よ る 権 利 (百万円)
114	-	1,646	-	-	-	-	-
6,670	-	1,365	-	-	-	-	-
4,158	-	13,314	3	1	-	-	-
10,942	-	16,325	3	1	-	-	-
9,247	-	16,450	1	-	-	-	-
6,609	-	19,674	-	-	-	-	-
19,906	-	81,759	-	-	-	-	-
8,623	-	42,549	-	-	-	105,479	-
44,385	-	160,432	1	-	-	105,479	-
208	364,959	10	-	-	-	562,540	-
55,535	364,959	176,767	4	1	-	668,019	-
1,732	-	811	-	-	-	235	-
394	-	6,107	-	-	167	-	107,886
-	500,529	-	-	-	-	25,686,532	-
2,126	500,529	6,918	-	-	167	25,686,767	107,886
57,661	865,488	183,685	4	1	167	26,354,786	107,886
56,891	863,002	182,804	4	1	168	26,354,786	107,837
770	2,486	881	0	0	△ 1	0	49
57,661	865,488	183,685	4	1	167	26,354,786	107,886

2 基金

上半期中（4月～9月）に152億3,600万円の減少
平成30年9月末の現在高は、5,993億1,400万円

〔第25表〕基金の設置状況（平成30年9月30日現在）

（△印減額）（単位：百万円）

基金名	30年3月末現在	30年9月末現在	30年度上半期 増減
静岡県財政調整基金	8,922	8,922	0
静岡県県債管理基金	512,082	509,881	△2,201
静岡県庁舎建設基金	5,571	5,571	0
静岡県大規模地震災害対策基金	1,934	1,934	0
静岡県社会環境基盤整備資金	307	307	0
静岡県浜名湖花博開催記念基金	150	134	△16
静岡県ワールドカップ開催記念基金	106	106	0
静岡県と中華人民共和国浙江省との 友好交流促進基金	110	110	0
静岡県ふじのくにづくり推進基金	22,559	20,059	△2,500
静岡県消費者行政活性化基金	11	7	△4
静岡県県営住宅管理基金	6,600	7,696	1,096
静岡県地球環境保全等に関する基金	249	177	△72
静岡県立美術館建設基金	1,541	1,541	0
静岡県富士山後世継承基金	1	12	11
静岡県空港建設基金	2,932	2,642	△290
静岡県災害救助基金	4,351	4,351	0
静岡県介護保険財政安定化基金	2,346	2,346	0
静岡県安心こども基金	4,384	2,705	△1,679
静岡県地域自殺対策緊急強化基金	18	18	0
静岡県地域医療介護総合確保基金	12,307	8,855	△3,452
静岡県国民健康保険財政安定化基金	7,454	6,797	△657
静岡県後期高齢者医療財政安定化基金	4,229	4,229	0
静岡県農業構造改革支援基金	950	812	△138
静岡県森林を守り育てる人づくり基金	2,073	2,073	0

基金名	30年3月末現在	30年9月末現在	30年度上半期 増減
静岡県森の力再生基金	1,136	618	△ 518
静岡県津波対策施設等整備基金	10,565	5,765	△ 4,800
静岡県緑と水のふるさと基金	1,406	1,407	1
静岡県森林整備地域活動支援基金	68	68	0
ふじのくにグローバル人材育成基金	188	171	△ 17
計	614,550	599,314	△ 15,236

第6 県の財政状況の推移

1 一般会計歳入決算の推移

・県税

世界的な景気低迷による企業収益の悪化や地方法人特別税の導入による影響により、20年度から減収傾向にありましたが、24年度以降は、企業収益の改善や消費税率引上げなどに伴い、6年連続で増加しました。

・県債

財政健全化を進める観点から、12年度から29年度は「通常債残高2兆円程度を上限」、30年度からは「通常債残高1.6兆円程度を上限」とする目標を定め、県債のうち通常債の残高について、発行と償還のバランスを取りつつ縮減に取り組んでいます。

[第26表] 一般会計歳入決算の推移

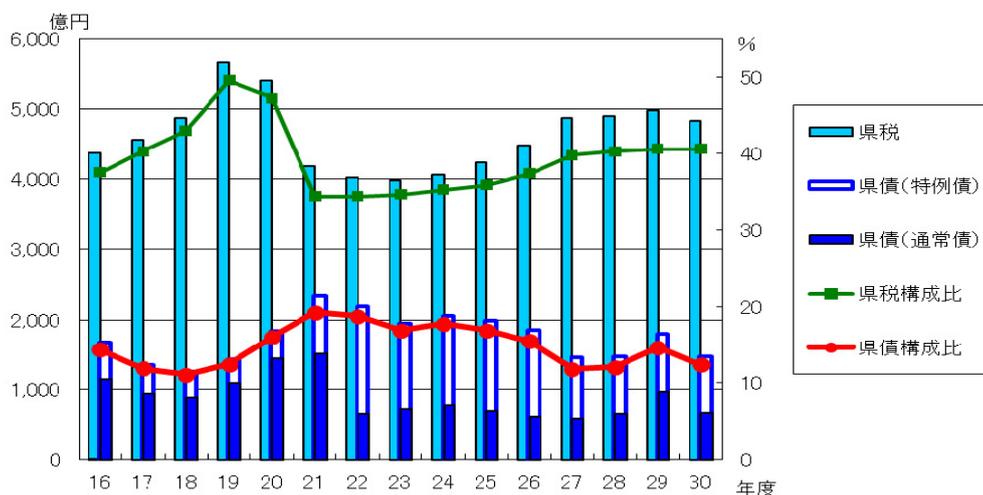
(単位: 億円・%)

区分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
県税	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,990	4,830
構成比	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.6	35.2	35.9	37.4	39.8	40.3	40.6	40.6
地方交付税	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,640	1,647	1,555	1,556	1,515	1,594	1,456	1,405
構成比	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	14.3	14.3	13.2	13.0	12.4	13.1	11.9	11.8
国庫支出金	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,365	1,311	1,455	1,289	1,270	1,260	1,134	1,153
構成比	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	11.9	11.4	12.3	10.8	10.4	10.4	9.2	9.7
県債	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799	1,477
通常債	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	657	716	781	692	619	580	657	962	662
臨財債等	526	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750	743	760
病院債	—	—	—	—	—	25	22	15	11	13	29	38	65	94	55
構成比	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	17.0	17.8	16.9	15.5	11.8	12.1	14.7	12.4
その他	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,562	2,456	2,573	2,785	3,149	2,931	2,899	3,035
構成比	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	22.2	21.3	21.7	23.3	25.6	24.1	23.6	25.5
計	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,278	11,900

※県債のうち「臨財債等」とは、臨時財政対策債とNTT無利子貸付金(NTT無利子貸付金は、17年度で償還済)

※30年度は9月現計予算

[第6図] 県税と県債の決算額と構成比



2 一般会計歳出最終予算の推移

- 義務的経費

社会保障関係経費である扶助費や県債の償還費である公債費が増加しています。

- 投資的経費

財政健全化の観点から県債残高の縮減に努めた結果、予算全体に占める構成比は、16年度（21.8%）以降減少してきましたが、22年度以降は地震津波対策などにより横ばいとなっています。

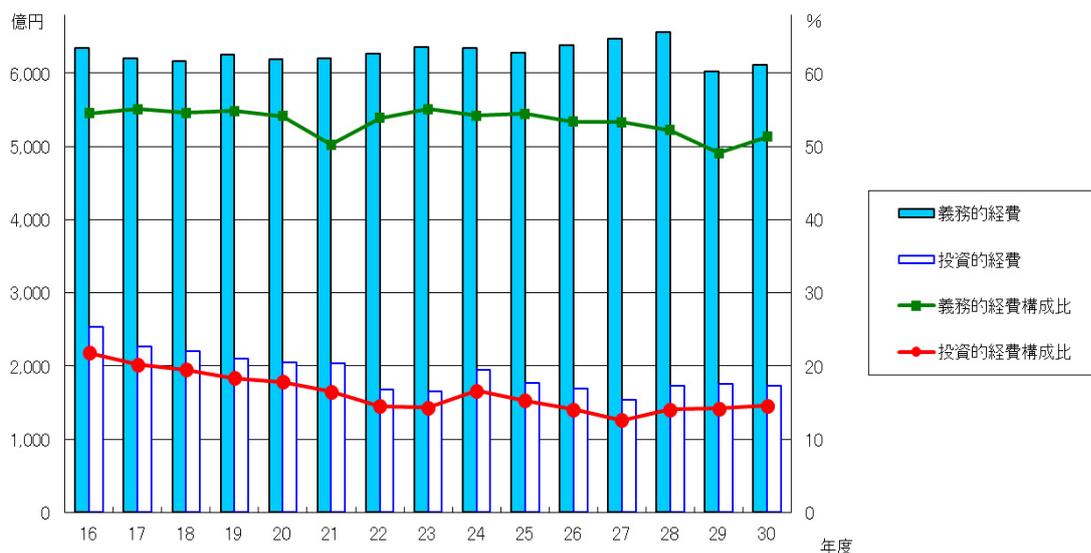
[第27表] 一般会計歳出最終予算の推移

(単位:億円・%)

区分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
義務的経費	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,351	6,345	6,285	6,388	6,476	6,563	6,022	6,111
構成比	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	55.1	54.2	54.4	53.4	53.3	53.5	49.0	51.3
人件費	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,734	3,722	3,575	3,604	3,643	3,646	3,024	3,015
構成比	33.6	34.8	34.8	34.7	33.9	30.7	32.3	32.4	31.8	31.0	30.1	30.0	29.7	24.6	25.3
扶助費	573	570	637	664	689	730	776	813	854	892	935	1,007	1,054	1,105	1,143
構成比	4.9	5.0	5.7	5.8	6.0	5.9	6.7	7.1	7.3	7.7	7.8	8.3	8.6	9.0	9.6
公債費	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,716	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,849	1,858
構成比	15.0	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	14.9	14.6	15.4	15.1	14.9	15.1	15.0	15.6
災害復旧費	113	64	15	56	15	17	38	88	55	42	50	14	15	44	95
構成比	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.7	0.5	0.3	0.4	0.1	0.1	0.4	0.8
税関関連法定経費	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135	1,112	1,155	1,284	1,932	1,786	2,145	1,941
構成比	9.9	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.8	9.9	9.5	10.0	10.8	15.9	14.6	17.5	16.3
投資的経費	2,535	2,273	2,207	2,098	2,045	2,036	1,684	1,651	1,949	1,766	1,690	1,533	1,734	1,750	1,736
構成比	21.8	20.2	19.5	18.4	17.9	16.5	14.5	14.3	16.6	15.3	14.1	12.6	14.1	14.3	14.6
公共・直轄	1,336	1,197	1,122	992	907	987	983	942	1,196	886	866	800	968	967	926
構成比	11.5	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	8.2	10.2	7.7	7.2	6.6	7.9	7.9	7.8
単独	1,199	1,076	1,085	1,106	1,138	1,049	701	709	753	880	824	733	766	783	810
構成比	10.3	9.6	9.6	9.7	10.0	8.5	6.0	6.1	6.4	7.6	6.9	6.0	6.2	6.4	6.8
その他	1,601	1,652	1,751	1,781	2,017	2,915	2,531	2,386	2,306	2,338	2,596	2,210	2,176	2,367	2,112
構成比	13.8	14.7	15.5	15.6	17.6	23.7	21.8	20.7	19.7	20.3	21.7	18.2	17.8	19.2	17.8
計	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,523	11,712	11,544	11,958	12,151	12,259	12,284	11,900

※30年度は9月現計予算。調査・受託はその他に含む。

[第7図] 義務的経費と投資的経費の最終予算額と構成比



3 一般会計の県債の状況

29年度末の県債残高は、28年度末から271億円増加し、2兆7,353億円となりました。

また、通常債の残高は、14年度をピークに減少傾向にあり、29年度末の残高は28年度末から182億円減少し、1兆5,918億円となり、29年度までの財政健全化の目標である「通常債残高2兆円程度を上限」を堅持しました。

[第28表] 県債の状況

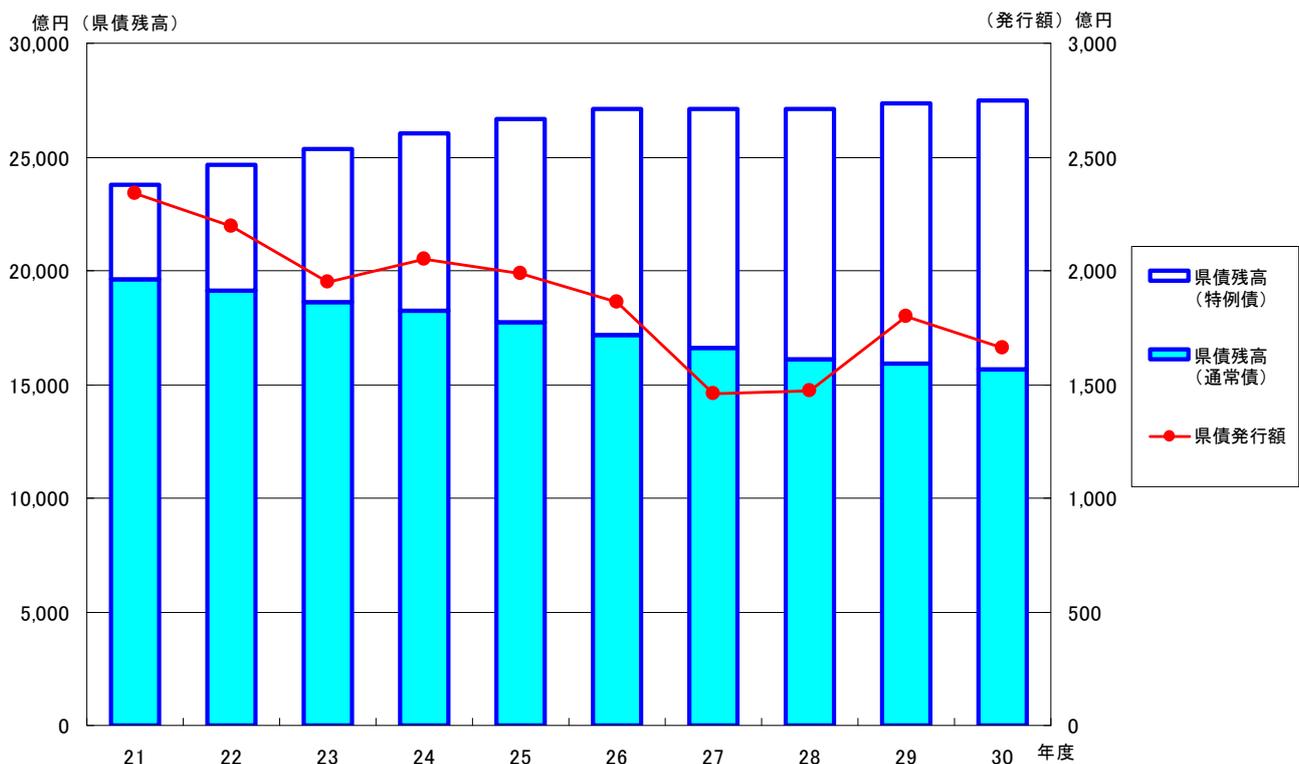
(単位：億円)

区 分	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
県債発行額	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,799	1,660
通常債	1,506	657	716	782	692	619	580	657	962	843
特例債	834	1,540	1,236	1,269	1,297	1,240	876	815	837	817
県債残高(年度末)	23,782	24,685	25,317	26,048	26,650	27,091	27,099	27,082	27,353	27,468
通常債	19,610	19,100	18,643	18,248	17,741	17,182	16,598	16,100	15,918	15,652
特例債	4,172	5,585	6,674	7,800	8,909	9,909	10,501	10,982	11,435	11,816
県債残高対前年度増減	1,436	903	632	731	602	441	8	△ 17	271	115
通常債	338	△ 510	△ 457	△ 395	△ 507	△ 559	△ 584	△ 498	△ 182	△ 266
特例債	1,098	1,413	1,089	1,126	1,109	1,000	592	481	453	381

※特例債とは、臨時財政対策債及び病院債（病院債は21年度から一般会計に移管）

※29年度は決算ベース、30年度は9月現計ベース（前年度からの繰り越し分を含む）

[第8図] 県債発行額と県債残高



4 基金残高の状況

静岡県では、各年度間で財源に過不足が生じるのを防ぐための財政調整基金、県債の購入者に元金や利子を支払うための県債管理基金、将来の庁舎建設などに備えるための基金など、特定の目的のためにお金を積み立てています。

積み立てたお金は、決められた目的のために活用するほか、銀行へ預けたり、国債などの債券を購入することなどにより収益を得ています。

なお、大規模な災害が起こった際には一時的に多額の費用が必要となることから、下記表の財政課所管基金は特例によりその際の財源として活用できることとしています。

23年度からは静岡県総合計画「富国有徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザイン」、30年度からは静岡県の新ビジョン「富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり」を着実に推進するため、「ふじのくにづくり推進基金」を活用し、事業を重点的に実施しています。

[第29表] 財政課所管基金の状況

(単位: 億円)

区分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
年度末残高	財政調整基金	125	116	106	32	88	88	89	89	89	89	89	89	89	89	69
	県債管理基金	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,478	2,897	3,319	3,670	3,863	4,420	4,587	4,766	5,098	5,199
	うち一般会計分	491	454	462	421	454	331	520	558	553	481	742	725	549	426	228
	庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	59	59	56	56	56
	土地開発基金	87	78	70	60	57	57	57	57	57	57	—	—	—	—	—
	大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	計	2,196	2,340	2,519	2,665	2,797	2,645	3,065	3,487	3,838	4,031	4,587	4,754	4,930	5,262	5,343
うち一般会計分	725	670	660	535	621	499	688	726	721	649	909	892	713	590	373	

※一般会計分とは、県債管理基金のうち一般会計分と、財政課所管基金のうちのその他の基金の合計

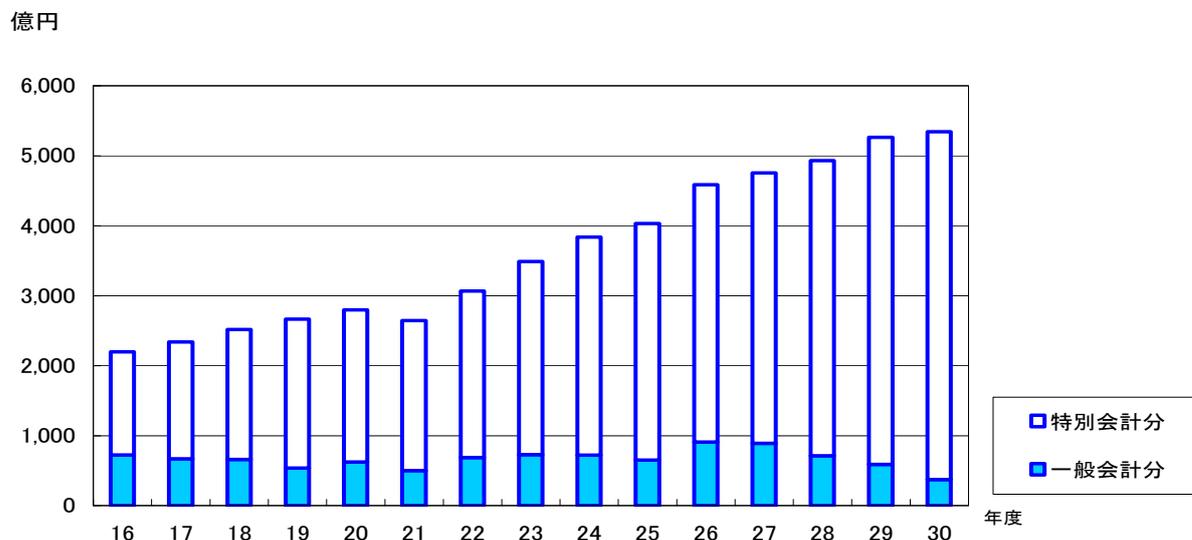
※29年度までは決算額、30年度は9月補正後見込額

[第30表] 総合計画推進のための基金の状況(年度末残高)

(単位: 億円)

区分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
ふじのくにづくり推進基金	—	—	—	—	—	—	100	75	40	100	75	51	26	201	151

[第9図] 財政課所管基金の年度末残高



5 健全化判断比率等の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、平成 29 年度の健全化判断比率等については、すべての指標で、早期健全化基準を下回っています。

また、資金不足比率については、いずれの会計においても資金不足額を生じていないため、比率はありません。

[第 31 表] 健全化判断比率（平成 29 年度決算）

（単位：％）

項 目	比 率	摘 要
実質赤字比率	— (3.75)	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計等の財政規模に対する赤字の比率で、単年度の健全性を示す比率。 実質収支が赤字でない限り数値はない。
連結実質赤字比率	— (8.75)	<ul style="list-style-type: none"> 公営企業会計まで含めた当該自治体の全ての会計の財政規模に対する赤字の比率で、単年度の健全性を示す比率。 一般会計等の実質赤字額と公営企業会計等の将来負担額の合計が赤字でない限り数値はない。
実質公債費比率	13.4 (25.0)	<ul style="list-style-type: none"> 公営企業の元金償還に対する繰出金や P F I などの債務負担行為まで含めた実質的な公債費の標準財政規模等に対する比率で、公債費負担の健全性を示す比率。
将来負担比率	238.4 (400.0)	<ul style="list-style-type: none"> 地方債等の債務残高に加え、現状の全職員の退職手当、損失補償をしている出資法人への負担見込額などの全会計を通じた債務残高の標準財政規模等に対する比率。

（注）（ ）は早期健全化基準

[第 32 表] 資金不足比率（平成 29 年度決算）

（単位：％）

会計の名称	資金不足比率
静岡県工業用水道事業会計	—
静岡県水道事業会計	—
静岡県地域振興整備事業会計	—
静岡県立静岡がんセンター事業会計	—
静岡県清水港等港湾整備事業特別会計	—
静岡県流域下水道事業特別会計	—

（注）「—」は、不足額がないことを示す。

第7 公営企業に係る業務の状況

1 工業用水道事業

(1) 平成29年度決算

ア 業務の状況

〔第33表〕給水量及び給水対象事業者数の状況

事業名	給水対象事業所数(か所)			給水量(m ³)		
	29年度末	28年度末	増減	29年度	28年度	増減
柿田川工業用水道	4	4	0	36,553,621	36,522,344	31,277
富士川工業用水道	11	10	1	38,496,860	37,376,286	1,120,574
東駿河湾工業用水道	100	99	1	147,860,700	147,856,279	4,421
静清工業用水道	72	72	0	19,089,229	19,057,217	32,012
中遠工業用水道	56	56	0	15,874,013	15,837,951	36,062
西遠工業用水道	83	83	0	15,047,764	15,573,374	△525,610
湖西工業用水道	22	22	0	6,138,396	6,143,729	△5,333
計	348	346	2	279,060,583	278,367,180	693,403

イ 建設改良事業

〔第34表〕平成29年度建設改良事業

(単位：百万円)

事業名	主な工事内容	金額
柿田川工業用水道	配水池設備制御盤改築工事	8
富士川工業用水道	吉原線配水管路布設替工事 等	414
東駿河湾工業用水道	富士川浄水場沈殿池傾斜板改築工事 等	217
静清工業用水道	送水本線布設替工事(長尾川・巴川推進工) 等	937
中遠工業用水道	寺谷浄水場高圧受変電設備改築工事 等	168
西遠工業用水道	初生浄水場計装設備(流量計)改築工事 等	173
湖西工業用水道	梅田浄水場機械設備改築工事 等	125
計		2,042

ウ 決算の状況

収益的収支 当年度純利益（消費税抜き）2億9,500万円（減債積立金及び建設改良積立金に積み立て）
 資本的収支 収入が支出に対して不足する額22億3,700万円（過年度分損益勘定留保資金等で補填）

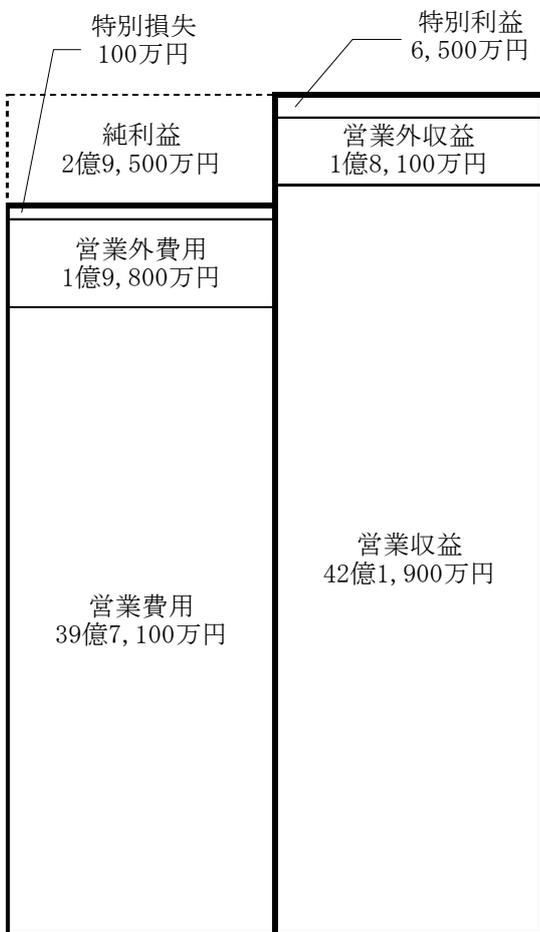
〔第10図〕平成29年度決算状況

（ア）平成29年度損益計算書

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

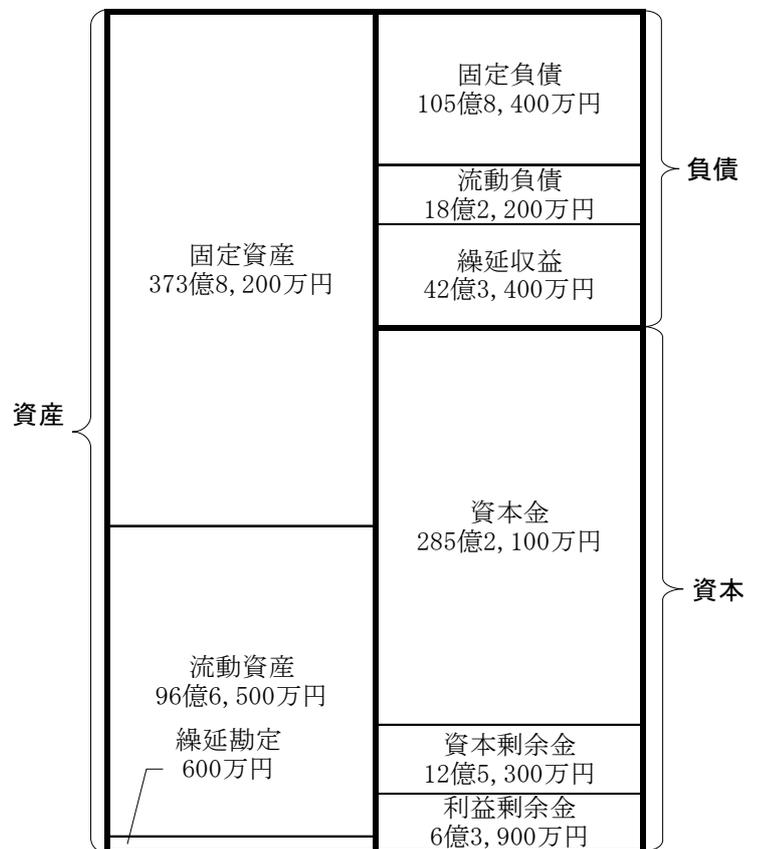
（イ）平成29年度貸借対照表

（平成30年3月31日現在）



費用
41億7,000万円

収益
44億6,500万円



資産
470億5,300万円

負債
166億4,000万円

資本
304億1,300万円

〔第 35 表〕 予算の執行状況

(単位：百万円・%)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	
收 益 的 收 支	收 入	営 業 収 益	4,534	4,556	100.5
		営 業 外 収 益	180	181	100.6
		特 別 利 益	66	65	98.5
		計	4,780	4,802	100.5
	支 出	営 業 費 用	4,254	4,129	97.1
		営 業 外 費 用	333	235	70.6
		特 別 損 失	1	1	100.0
		予 備 費	3	0	0.0
	計	4,591	4,365	95.1	
	支	収 入 ・ 支 出 差 引	189	437	—
資 本 的 收 支	收 入	企 業 債	563	558	99.1
		国 庫 補 助 金	191	166	86.9
		負 担 金	105	74	70.5
		固 定 資 産 売 却 代 金	2	2	100.0
	計	861	800	92.9	
	支 出	建 設 改 良 費	2,938	2,042	69.5
		固 定 資 産 取 得 費	4	3	75.0
		企 業 債 償 還 金	992	992	100.0
	計	3,934	3,037	77.2	
	支	収 入 ・ 支 出 差 引	△3,073	△2,237	—

(注) 上記は、消費税込みである。

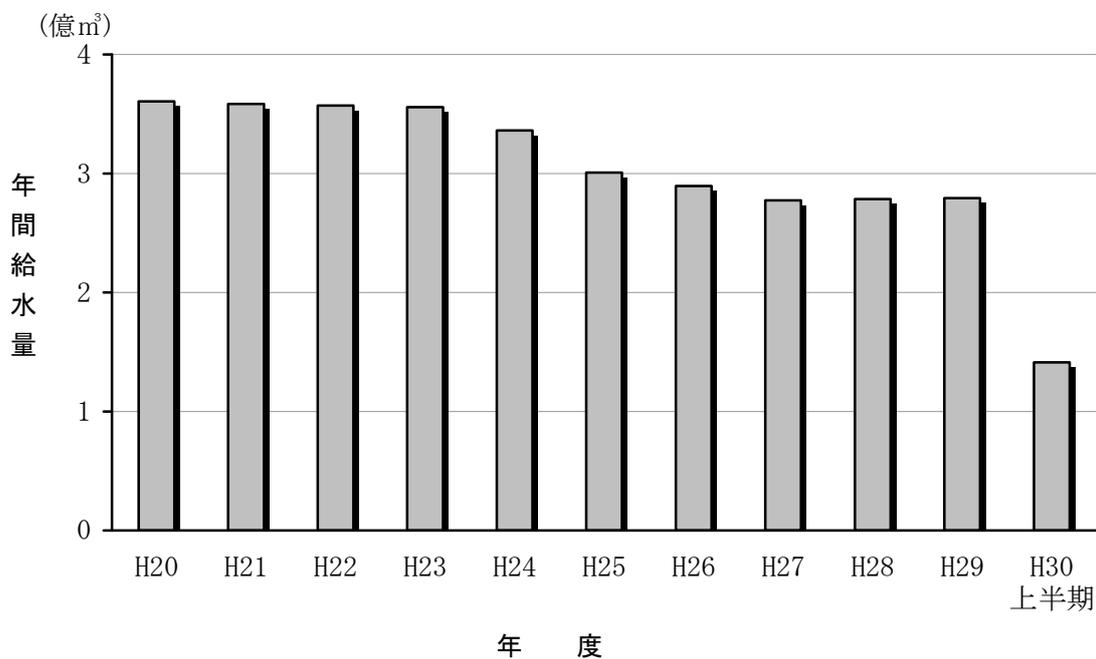
(2) 平成 30 年度上半期の事業及び経理の状況

ア 事業の状況

〔第 36 表〕 給水量及び給水対象事業者数の状況

事業名	給水対象事業所数 (か所)			給水量 (m ³)		
	30 年 9 月末	29 年度末	増 減	30 年度 上半期	29 年度 上半期	増 減
柿田川工業用水道	4	4	0	18,430,817	18,417,679	13,138
富士川工業用水道	11	11	0	19,240,689	19,622,866	△382,177
東駿河湾工業用水道	98	100	△2	69,138,386	74,838,483	△5,700,097
静清工業用水道	72	72	0	9,640,288	9,584,547	55,741
中遠工業用水道	56	56	0	7,933,518	7,998,957	△65,439
西遠工業用水道	85	83	2	7,538,315	7,556,466	△18,151
湖西工業用水道	22	22	0	3,066,808	3,074,112	△7,304
計	348	348	0	134,988,821	141,093,110	△6,104,289

〔第 11 図〕 年度別給水状況



イ 経理の状況

〔第 37 表〕平成 30 年度予算執行状況（平成 30 年 9 月 30 日現在）

（単位：百万円・％）

区 分			予 算 額			執 行 額	執 行 率
			当 初	補 正	計		
收 益 的 収 支	収 入	営 業 収 益	4,436	0	4,436	1,883	42.4
		営 業 外 収 益	175	0	175	5	2.9
		特 別 利 益	309	0	309	0	0.0
		計	4,920	0	4,920	1,888	38.4
	支 出	営 業 費 用	4,369	0	4,369	878	20.1
		営 業 外 費 用	242	0	242	88	36.4
		特 別 損 失	1	0	1	0	0.0
		予 備 費	3	0	3	0	0.0
計	4,615	0	4,615	966	20.9		
資 本 的 収 支	収 入	企 業 債	1,409	0	1,409	0	0.0
		国 庫 補 助 金	139	0	139	0	0.0
		補 償 金	51	0	51	0	0.0
		負 担 金	253	0	253	0	0.0
		投資有価証券償還金	500	0	500	500	100.0
		固定資産売却代金	16	0	16	0	0.0
		計	2,368	0	2,368	500	21.1
	支 出	建 設 改 良 費	2,858	0	2,858	590	20.6
		固 定 資 産 取 得 費	6	0	6	1	16.7
		投 資	1,000	0	1,000	0	0.0
		企 業 債 償 還 金	980	0	980	488	49.8
		国庫補助金返還金	3	0	3	0	0.0
計	4,847	0	4,847	1,079	22.3		

（注）29 年度からの繰越を含む。

2 水道事業

(1) 平成29年度決算

ア 業務の状況

〔第38表〕給水量及び給水先数の状況

事業名	給水先数（市町数）			給水量（m ³ ）		
	29年度末	28年度末	増減	29年度	28年度	増減
駿豆水道	3	3	0	12,808,549	12,894,176	△ 85,627
榛南水道	2	2	0	5,624,436	5,472,870	151,566
遠州水道	5	5	0	60,560,202	60,970,250	△ 410,048
計	10	10	0	78,993,187	79,337,296	△ 344,109

イ 建設改良事業

〔第39表〕平成29年度建設改良事業

（単位：百万円）

事業名	主な工事内容	金額
駿豆水道	八幡取水場自家発電設備改築工事等	220
榛南水道	送水管布設替工事（須々木）等	208
遠州水道	寺谷浄水場高圧受変電設備改築工事等	986
計		1,414

ウ 決算の状況

収益的収支 当年度純利益（消費税抜き）12億3,700万円（減債積立金及び建設改良積立金に積み立て）
 資本的収支 収入が支出に対して不足する額22億3,700万円（過年度分損益勘定留保資金等で補填）

〔第12図〕平成29年度決算状況

（ア）平成29年度損益計算書

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（イ）平成29年度貸借対照表

（平成30年3月31日現在）

純利益 12億3,700万円	営業外収益 5億1,000万円
営業外費用 3億4,000万円	営業収益 59億9,500万円
営業費用 49億2,800万円	

費用
52億6,800万円

収益
65億500万円

資産	固定資産 632億3,600万円	固定負債 169億100万円	負債
	流動資産 120億8,900万円	流動負債 17億6,300万円	
		繰延勘定 500万円	
		資本金 384億3,400万円	資本
		資本剰余金 11億9,600万円	
		利益剰余金 25億4,600万円	

資産
753億3,000万円

負債
331億5,400万円

資本
421億7,600万円

〔第 40 表〕 予算の執行状況

(単位：百万円・%)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)		
收 益 的 收 支	收 入	営 業 収 益	6,467	6,475	100.1	
		営 業 外 収 益	509	510	100.2	
		計	6,976	6,985	100.1	
	支 出	営 業 費 用	5,472	5,086	92.9	
		営 業 外 費 用	663	557	84.0	
		予 備 費	3	0	0.0	
		計	6,138	5,643	91.9	
	支	収 入 ・ 支 出 差 引	838	1,342	-	
	資 本 的 收 支	收 入	企 業 債	267	227	85.0
			出 資 金	41	41	100.0
補 助 金			116	99	85.3	
計			424	367	86.6	
支 出		建 設 改 良 費	1,991	1,414	71.0	
		固 定 資 産 取 得 費	15	11	73.3	
		企 業 債 償 還 金	1,177	1,177	100.0	
		補 助 金 返 還 金	2	2	100.0	
		計	3,185	2,604	81.8	
支		収 入 ・ 支 出 差 引	△ 2,761	△ 2,237	-	

(注) 上記は、消費税込みである。

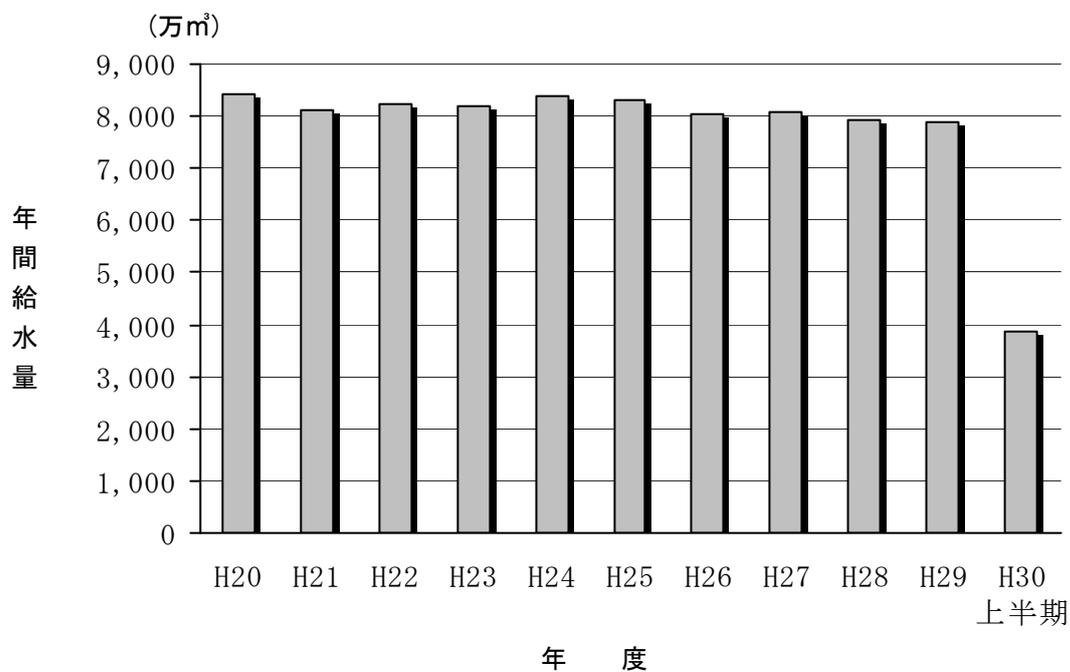
(2) 平成 30 年度上半期の事業及び経理の状況

ア 事業の状況

〔第 41 表〕 給水量及び給水先数の状況

事業名	給水先数（市町数）			給水量（m ³ ）		
	30 年 9 月末	29 年度末	増 減	30 年 度 上 半 期	29 年 度 上 半 期	増 減
駿 豆 水 道	3	3	0	5,895,183	6,559,636	△ 664,453
榛 南 水 道	2	2	0	2,894,157	2,862,553	31,604
遠 州 水 道	5	5	0	29,738,037	30,497,768	△ 759,731
計	10	10	0	38,527,377	39,919,957	△ 1,392,580

〔第 13 図〕 年度別給水状況



イ 経理の状況

〔第 42 表〕平成 30 年度予算執行状況（平成 30 年 9 月 30 日現在）

（単位：百万円・％）

区 分			予 算 額			執 行 額	執 行 率
			当 初	補 正	計		
收 益 的 収 支	収 入	営 業 収 益	6,464	0	6,464	2,722	42.1
		営 業 外 収 益	503	0	503	2	0.4
		計	6,967	0	6,967	2,724	39.1
	支 出	営 業 費 用	5,657	0	5,657	919	16.2
		営 業 外 費 用	476	0	476	154	32.4
		予 備 費	3	0	3	0	0.0
		計	6,136	0	6,136	1,073	17.5
資 本 的 収 支	収 入	企 業 債	497	0	497	0	0.0
		出 資 金	34	0	34	0	0.0
		補 助 金	156	0	156	0	0.0
		計	687	0	687	0	0.0
	支 出	建 設 改 良 費	2,854	0	2,854	600	21.0
		固 定 資 産 取 得 費	35	0	35	0	0.0
		投 資	1,000	0	1,000	0	0.0
		企 業 債 償 還 金	1,069	0	1,069	527	49.3
		計	4,958	0	4,958	1,127	22.7

（注）29 年度からの繰越を含む。

3 地域振興整備事業

(1) 平成29年度決算

ア 分譲の状況

平成29年度における用地の分譲は、ありません。

イ 建設改良事業

〔第43表〕平成29年度建設改良事業

(単位：百万円)

区 分	団 地 等 名	主 な 工 事 内 容	金 額
工 業 用 地	富士山麓フロンティアパーク 小山	基盤造成工事 等	1,139
	長 泉 南 一 色	〃	87
	清 水 町 久 米 田	〃	177
	森 中 川 下	〃	40
	藤 枝 高 田	測量・設計	7
計			1,450

ウ 決算の状況

収益的収支 当年度純損失（消費税抜き）5,500万円
 資本的収支 収入が支出に対して不足する額6億4,200万円（過年度分損益勘定留保資金等で補填）

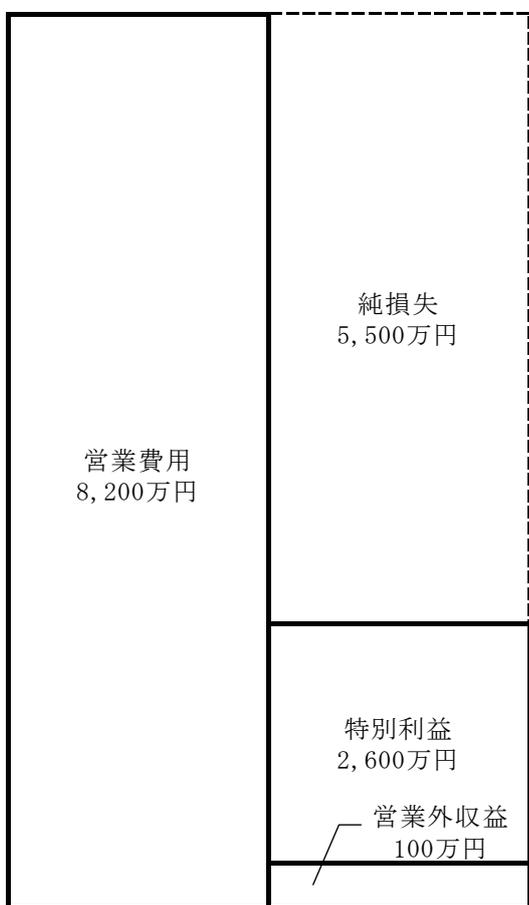
〔第14図〕平成29年度決算状況

（ア）平成29年度損益計算書

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

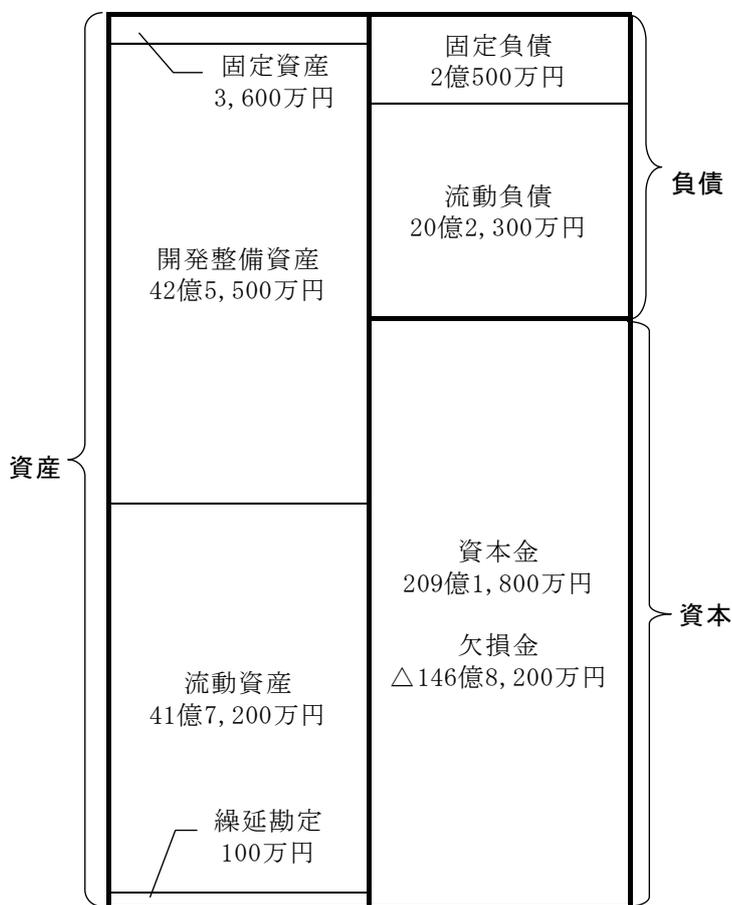
（イ）平成29年度貸借対照表

（平成30年3月31日現在）



費用
8,200万円

収益
2,700万円



資産
84億6,400万円

負債
22億2,800万円
資本
62億3,600万円

〔第 44 表〕 予算の執行状況

(単位：百万円・%)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	
收 益 的 收 支	收 入	営 業 収 益	0	0	0.0
		営 業 外 収 益	127	99	78.0
		特 別 利 益	26	26	100.0
		計	153	125	81.7
	支 出	営 業 費 用	118	82	69.5
		営 業 外 費 用	1	0	0.0
		予 備 費	3	0	0.0
		計	122	82	67.2
	収 入 ・ 支 出 差 引		31	43	—
	資 本 的 收 支	收 入	負 担 金	46	45
浜 松 坪 井 地 区 事 業 収 入			0	0	0.0
長 泉 南 一 色 地 区 事 業 収 入			0	0	0.0
清 水 町 久 米 田 地 区 事 業 収 入			50	50	100.0
森 中 川 下 地 区 事 業 収 入			213	213	100.0
新 事 規 業 用 地 事 業 収 入			0	0	0.0
藤 枝 高 田 地 区 事 業 収 入			500	500	100.0
雑 収 入			0	0	0.0
計		809	808	99.9	
支 出		建 設 改 良 費	2,528	1,450	57.4
	計	2,528	1,450	57.4	
収 入 ・ 支 出 差 引		△1,719	△642	—	

(注) 上記は、消費税込みである。

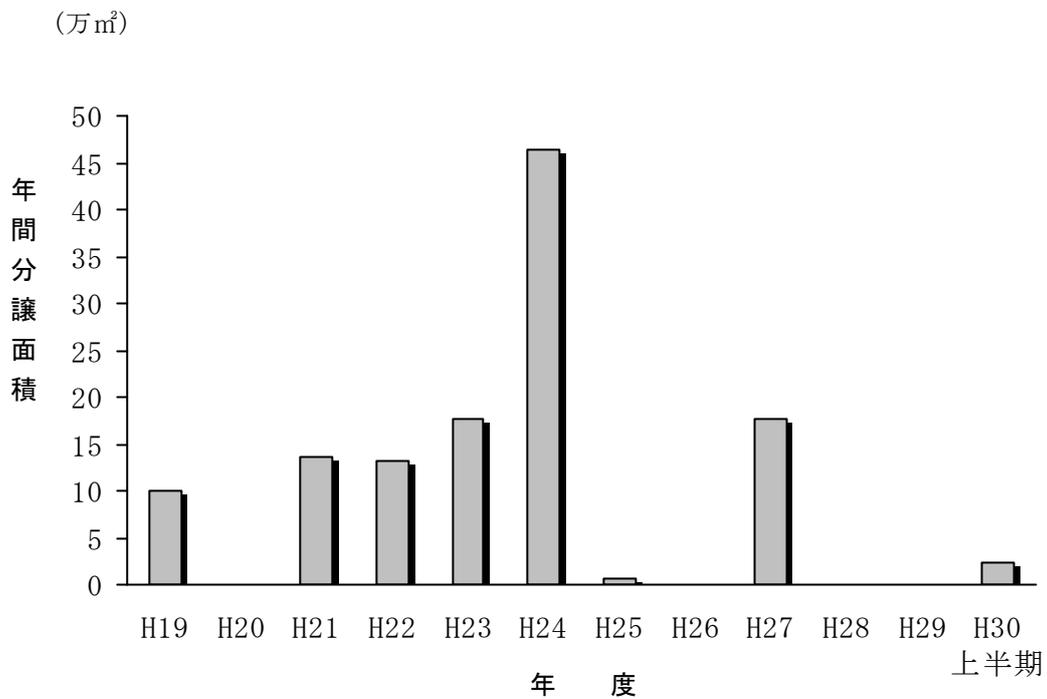
(2) 平成30年度上半期の事業及び経理の状況

ア 事業の状況

〔第45表〕造成中の団地の状況

用地名	所在地	区画数	造成面積 (㎡)
富士山麓フロンティアパーク 小山	小山町湯船	7	314,251
森 中 川 下	森町中川	1	11,512
藤 枝 高 田	藤枝市高田	7	102,454
計		15	428,217

〔第15図〕年度別工業用地等の分譲状況



4 県立静岡がんセンター事業

(1) 平成 29 年度決算

ア 病院数及び利用患者数

静岡がんセンターでは、「がんを上手に治す」、「患者さんと家族を徹底支援する」、「成長と進化を継続する」の3つの理念を基本に本県がん対策の中核を担う高度がん専門医療を提供しています。

〔第 47 表〕平成 29 年度患者利用状況

(単位：人)

区 分	入 院			外 来		
	29 年度	28 年度	増 減	29 年度	28 年度	増 減
延 患 者 数	199,998	199,024	974	290,067	286,073	3,994
1 日 平 均 患 者 数	547.9	545.3	2.6	1,188.8	1,177.3	11.5

イ 決算の状況

収益的収支 当年度純損失（消費税抜き）9,700万円
 資本的収支 収入が支出に対して不足する額 35 億 5,000 万円（過年度分損益勘定留保資金等で補填）

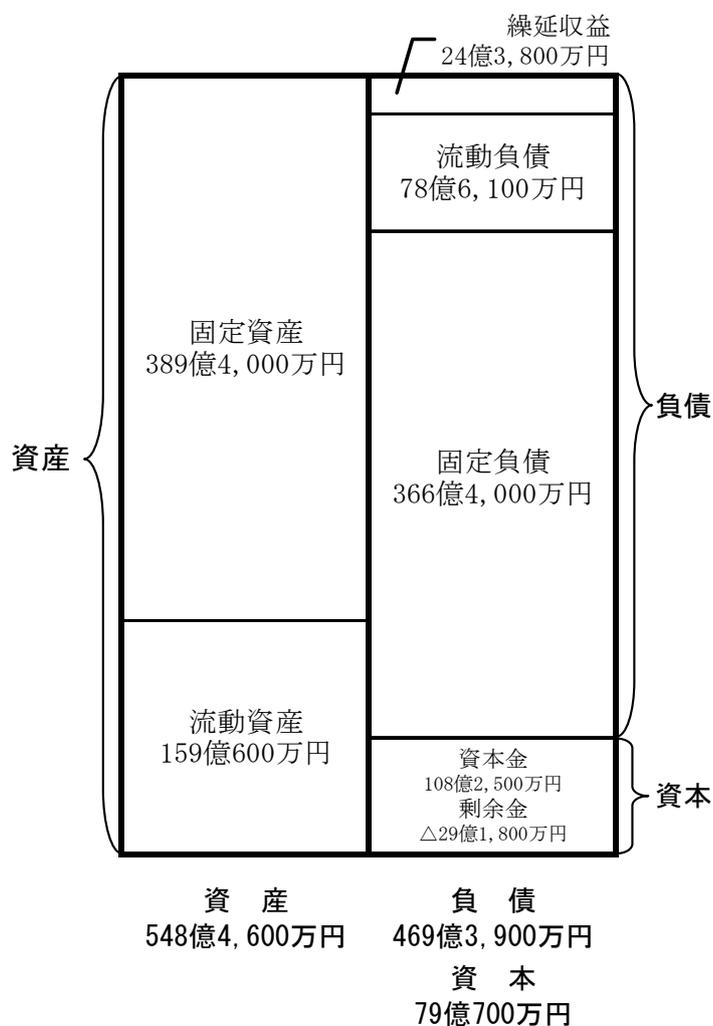
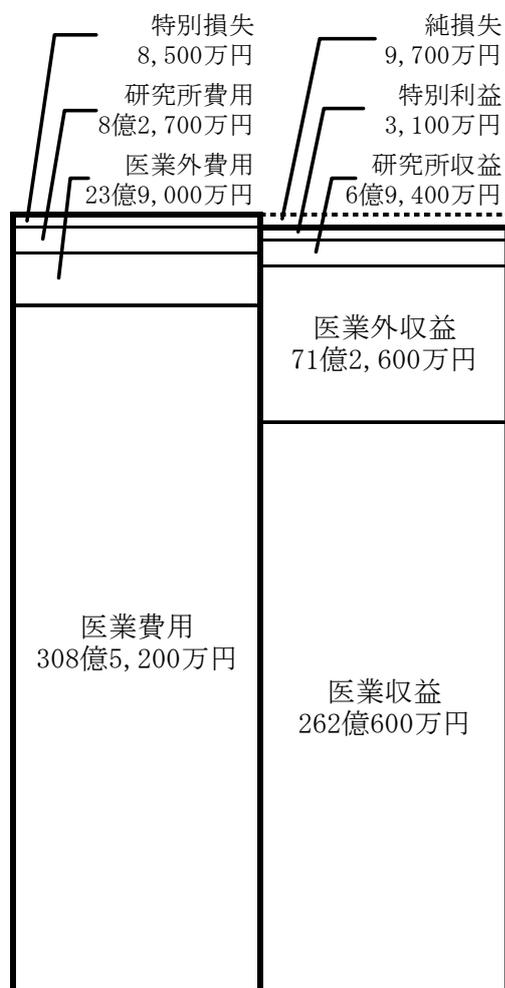
〔第 16 図〕平成 29 年度決算状況

（ア）平成 29 年度損益計算書

（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）

（イ）平成 29 年度貸借対照表

（平成 30 年 3 月 31 日現在）



〔第 48 表〕 予算の執行状況

(単位：百万円・%)

区 分		予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B)/(A)	
収 益 的 収 支	入	医 業 収 益	26,376	26,270	99.6
		医 業 外 収 益	7,356	7,188	97.7
		特 別 利 益	30	33	110.0
		研 究 所 収 益	729	694	95.2
		計	34,491	34,185	99.1
	出	医 業 費 用	32,593	32,055	98.3
		医 業 外 費 用	1,364	1,305	95.7
		特 別 損 失	96	86	89.6
		研 究 所 費 用	865	829	95.8
		計	34,918	34,275	98.2
収 入 ・ 支 出 差 引		△427	△90		
資 本 的 収 支	入	企 業 債	1,036	1,001	96.6
		受 託 金	83	6	7.2
		負 担 金	1	1	100.0
		出 資 金	141	141	100.0
		寄 附 金 等	533	532	99.8
	計	1,794	1,681	93.7	
	出	建 設 改 良 費	1,170	1,076	92.0
		企 業 債 償 還 金	4,105	4,105	100.0
		貸 付 金 等	59	50	84.7
	計	5,334	5,231	98.1	
収 入 ・ 支 出 差 引		△3,540	△3,550		

(注) 28 年度繰越を含む。

上記は、消費税込みである。

(2) 平成 30 年度上半期の事業及び経理の状況

ア 病床数及び利用患者数

〔第 49 表〕平成 30 年度上半期患者利用状況

(単位：人)

区 分	入 院			外 来		
	30 年度 上半期	29 年度 上半期	増 減	30 年度 上半期	29 年度 上半期	増 減
延 患 者 数	99,570	100,638	-1,068	145,027	144,531	496
1 日 平 均 患 者 数	544.1	549.9	-5.8	1,169.6	1,165.6	4.0

〔第 17 図〕年度別患者利用状況

